

# ライオン信濃

我々は、世界最大の奉仕クラブ組織です

Lion Shinano

334-E地区

## 「我がクラブの ライオンズレガシー」

第二回 4R編

武田善彦地区ガバナー公式訪問

夏季派遣YCE生帰国報告／  
海外からYCE生を迎えて



2016.7~2017.6  
VOL.42-NO.2

334-E地区 ガバナースローガン

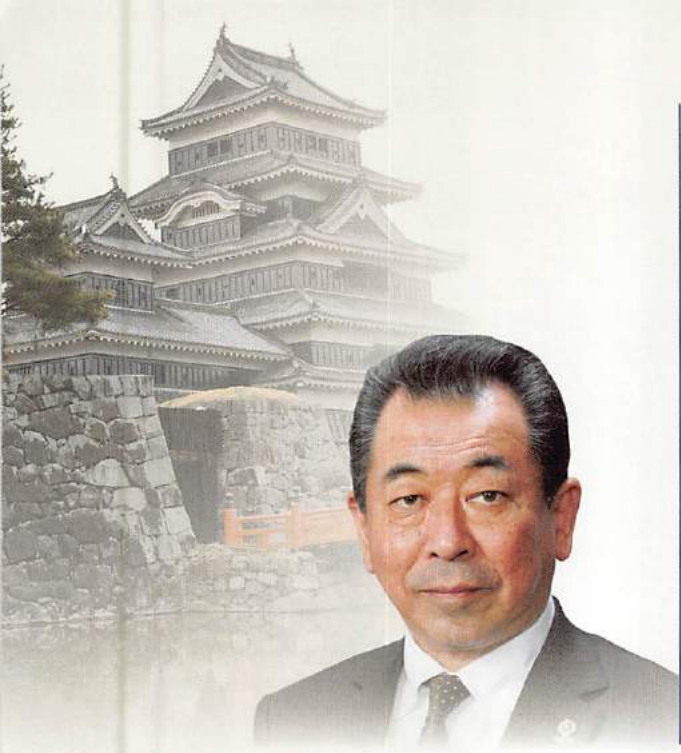
獅子魂よ 永遠なれ! Lion's Spirit Forever!



「百年の力」より強く より高く 新たなる改革を  
“Our Centennial Success” Be Greater and Higher Time for Innovation

‘We Serve’ since 1917 ライオンズクラブ国際協会 334-E地区 [長野県]

# 武田善彦地区ガバナー 公式訪問



武田善彦地区ガバナーの公式訪問は、8月23日の1R・1Zから始まり、10月4日の3R・3Zで334-E地区10Zのすべての日程を終了しました。

「百年の力より強くより高く新たなる改革を」を地区ガバナースローガンに、特に3つの大きな基本方針について武田地区ガバナーより力強く語られ、目的意識の共有化と全参加ライオンの意識向上が図られた有意義な公式訪問となりました。

また100周年に向けてのビジョンについても熱く語られ、親しく膝を交えながら各ライオンの理解と協力を求めました。

## 1R・1Z 8月23日(火) ラコ華乃井ホテル

■ホストクラブ/下諏訪LC

猛暑が続く8月23日に1R1Zガバナー公式訪問例会が開催されました。1Z159名のメンバーが武田ガバナーの所信表明を聞き、今年度の事業の推進力を更にパワーアップさせて戴く様な話でした。今年度はライオンズクラブ創立100周年の記念奉仕にチャレンジする年でもあります。また、基本方針の3項目を是非達成するようにとの力強い叱咤激励を戴きました。ガバナー自身がこの地に縁があり、数十年前にはこの付近に2~3年住んでいたことまた、太田名誉顧問との深い親交等、多くの縁がこの1Zにあることに私たちもより近しく感じました。おそらくガバナーはいろいろな縁を、人と人との関わりを大切にしてきた方だと思いました。「100杯のお茶よりも1献のお酒が距離を近くする」の下諏訪LC第1副会長の本山ライオンの挨拶から懇親会がスタート。楽しい音楽のアトラクションで多いに盛り上がりました。ホストの下諏訪LCには感謝申し上げます。有難うございました。



## 1R・2Z 9月14日(水) マリエール飯田

■ホストクラブ/飯田赤石LC

1R2Zの地区ガバナー公式訪問は、9月14日飯田赤石LCがホストになり、マリエール飯田において武田善彦ガバナーをはじめキャビネット役員、1R地区委員、1R2Z6クラブの総勢154名で開催いたしました。武田ガバナーから所信表明を頂く中、本年度の基本方針の説明がなされ、今年度E地区として新会員150名、家族会員300名、LCIF200口の目標を熱く語られました。又2017年~2019年度国際理事候補者である佐藤義雄元地区ガバナーも出席いただき、2017年7月の第100回シカゴ国際大会での投票に向け皆様のご協力とのお願いが有り、意義ある例会を終える事が出来ました。懇親会に移りアトラクションで「心鼓舞・彩」の太鼓の演奏、歌手本宮れい子さんに「特殊詐欺を防ごう、5つの約束」を歌っていただき、楽しい時間はあっという間に過ぎ飯田赤石LCの山下正文LCの音頭で「また逢う日まで」を全員で歌い幕を閉じました。



## 2R・1Z 9月13日(火) 信州松代ロイヤルホテル

■ホストクラブ/長野松代LC

2R1Zのガバナー公式訪問が、9月13日に開催されました。ボーイスカウト長野第18団に寄贈された4クラブ合同アクティビティ100周年記念ロゴ入り大型テントの下で登録受付が行われ、大勢の参加頂いた1Zのライオンにご披露できました。このテントはボーイスカウトはじめ、ガールスカウト、GMT・GLT・アラートの災害時に、そして真田十万石まつりにと使用させていただく予定です。両サイドには4クラブの名前が入っており、地元でのPRにも大変有効であると思います。さて、合同例会前に行われた、武田ガバナーを囲んでの三役懇談会では、各クラブ会長より諮問事項の回答があり、各クラブとも一生懸命取り組んでいる姿勢がガバナーに伝わった事と思います。その後行われた合同例会では、ガバナーより基本方針をわかりやすくご説明頂き、今年度334-E地区から初めて国際理事候補者になりました佐藤候補者からも、力強いご宣言を頂きました。今年は大河ドラマ真田丸の放映中ですので、地元より選ばれた二人の小松姫にも、サプライズとしてガバナーのテーブルに着座していただき、パーティーの雰囲気をも明るくして頂きました。



## 2R・2Z 9月5日(月) 飯山市文化交流館 なちゅら/ホテルほていや

■ホストクラブ/飯山LC

9月5日(月)飯山市の新装となった文化交流館「なちゅら」に於いて、ホストクラブ飯山LCのもと、2R2Zガバナー公式・5C合同例会が開催されました。例会には、飯山市の副市長、議長始めロータリークラブ会長、青年会議所理事長にもご交際、ご参会いただき連携を深めました。またキャビネットからは、武田ガバナー、山邊第一副地区ガバナー、佐藤国際理事候補者、菊池幹事、有賀会計、小林地区GMT委員長そして増田名誉顧問会議長、宮下名誉顧問にも駆けつけていただき開催をさせて戴きました。改めて関係者のご協力に心から厚く感謝し深く御礼を申し上げます。

ガバナーからの方針説明及びキャビネットからの報告の後、飯山市への5C合同アクティビティとして図書券の寄贈を行いました。ガバナー歓迎パーティーでは、地元関係歌手によるアトラクションを挟み、和やかに懇談が行われ再会を誓い無事終了いたしました。



8月25日地区内2番目のガバナー公式訪問特別例会を長野市ホテル国際21にて開催しました。

3ゾーンは地区内の多くのゾーンとは異なり公式訪問例会を主管するのはZC輩出クラブとは別のクラブが担当するローテーションが組まれており、今年度は長野みすずライオンズクラブにホストを務めていただきました。どちらかと言えばZCもお客様の扱いとなり、ホストクラブが全ての準備から運営を行います。この方式によりZCは他の仕事に専念でき、又ホストクラブも全力で準備できるので、洗練された公式訪問例会が開催できる理由と感じています。

又、ゾーン内クラブの共同で公式訪問記念事業を行うことになっており、本年は長野市が運営する2カ所のこども広場に遊び道具等を寄贈いたしました。

武田ガバナーの方針説明も明快で、有意義な公式訪問例会が開催できました。



9月9日(金)ホテルブエナビスタにおいて、松本LCをホストクラブとして、3R1Zの地区ガバナー公式訪問合同例会及び歓迎会が開催されました。武田善彦地区ガバナーにおかれては、本年はライオンズ創立100年の年に当たり、ライオンズ活動の基本である奉仕活動の継続、そして特に会員の資質向上と女性会員の増強に取り組むよう要望されました。また、LCIF献金の現況を語る中で、その献金の大切さ、フィリピンの医療奉仕活動の継続等、334-E地区の特異的な事業として継続して取り組んでいくと強く語られました。

次に、佐藤義雄地区名誉顧問・元地区ガバナーが国際理事候補者となり、来年シカゴで開催される国際大会で指名されるまで、11月のOSEAL大会を含め国内外でしっかり支援するよう要請がありました。佐藤義雄地区名誉顧問・元地区ガバナーも登壇され決意を述べられました。武田地区ガバナーが在籍するゾーンだけに、28名の地区役員への参加を頂き、厳粛のうちにも和やかに進行、盛大な歓迎会が開催出来ました。



武田善彦ガバナーは9月21日、3R2Zを公式訪問。宮永知春ゾーン・チェアパーソンを先頭に、ホストクラブの大町ライオンズクラブ(中村俊久会長)をはじめ安曇、白馬、高瀬、白馬の5クラブの62人が武田ガバナーを信州金熊温泉・明日香荘で歓迎した。

武田ガバナーは「今までの100年に培われた奉仕の心と行動を、これからの100年に向けて、今まで以上に強固に、そして崇高な精神を堅持しつつ、変えるべきは変える勇気が必要」と力強く所信を表明した。

武田ガバナーの所信、基本方針表明を受け、宮永ゾーン・チェアパーソンは100周年奉仕活動の継続と推進、会員増強、自治体との連携協定に基づく事業の推進にクラブ間の連携の強化を図り一致団結して取り組みたいと応えた。



式典はゾーン・チェアパーソンL坂原による開会宣言で合同例会からスタート。ホストクラブ会長L本山からの歓迎の挨拶の後、武田地区ガバナーから今年度の基本方針が説明されました。①2018年6月までに1億人に対して100周年奉仕活動は既に達成したが継続する。2014年からの100年の記念アクトをキャビネット、ゾーン全体で継続し推進して行く。②新たな時代にリーダーとして若手の育成、女性会員が活躍できるクラブ運営を推進し女性会員を増強する。中島長野県副知事が諏訪湖LCに入会されました。各クラブ3名以上の新入会員の増強に尽力して欲しい。③長野県連携協定による「あいさつ運動」「貧困家庭への支援」の事業の実施。④ライオンズクエストワークショップの実施。⑤第42回日比合同医療奉仕活動の実施。参加会員200名、10,000人のフィリピンの方の治療に奉仕したい。厳粛な雰囲気の中武田地区ガバナーの熱い思いが出席者全員に伝えられました。その後の懇親会では武田地区ガバナー、キャビネット役員を囲み和やかな内に宴が進みキャビネットと各クラブが相互に親睦を深め、3R3Zが一体となった素晴らしい公式訪問例会でした。



— 武田ガバナーの熱き想いと不屈の精神に感動 —

9月8日、4R1Zのガバナー公式訪問は武田ガバナーをはじめキャビネット役員・地区名誉顧問・地区委員をはじめ、8クラブ98名の会員の皆様のご参加を頂き、湯の香漂う戸倉上山田温泉のホテル圓山荘で厳粛の中にも、闊達な話し合いの懇談会で幕を開けました。引き続き開かれた合同例会では武田ガバナーの所信表明と共に明確な指針が示されました。穏やかな話し方ではありましたが、胸に秘めた燃え滾る闘志は表情と語気に現れ、これからの活動が益々楽しみにさせる挨拶でした。

そして最後の歓迎祝宴では注いで注がれて絆と友情を深め、たくさんの活動酒を補給し、有意義で心の通う内容で閉幕となりました。武田ガバナーをはじめキャビネット役員をはじめ会員の皆様有難うございました。そしてご苦勞様でした。最後になりましたが4R1Zの皆様にはガバナー指標達成に向けご活躍することを祈念しております。



夏が過ぎ初秋の香り漂う軽井沢に於いて、4R2Zのガバナー公式訪問例会が9月1日に軽井沢プリンスホテルにて開催されました。本年はライオンズクラブ100周年の記念すべき年でありますので、武田ガバナーによるガバナー方針を含んだ熱の入った挨拶の他、来期の佐藤義雄国際理事誕生に向けての応援の会ともなりました。

例会後の歓迎祝宴の開宴に先駆け、今年度YCEの夏季派遣で、ドイツから帰国したばかりの小川彩那さんによる帰国報告会を行いました。映像を使った、しっかりとした報告に、皆様熱心に耳を傾け、彩那さんの海外で感じた生の言葉にYCE事業の大切さを再認識した場でもありました。

引続きの祝宴では、和やかな雰囲気の中にも4R2Zの更なる結束を固められたのではと思っています。お忙しい中、大勢のライオンの皆様にご出席頂き誠にありがとうございました。



# 夏季派遣YCE生 帰国報告

## 【青少年の国際交流 YCE交換学生プログラム】

ライオンズクラブでは国際感覚の育成を目的に、さまざまな国との交換学生プログラムを実施しております。生活・習慣・宗教などの異なる海外で、学び生活をするという貴重な体験を、世界中の青少年に与えたいと考えます。次代の平和を願い、活躍する若者を育む一助を担っています。

武田 杏夏

派遣先/オーストリア

期間/平成28年7月15日~8月14日 | スポンサーLC/飯山LC



初めに、今回の派遣にあたってライオンズクラブの関係者全ての方々に御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

私はこの夏7月15日から8月14日までの約1カ月間オーストリアに派遣させていただきました。

出発の前は、なんとか自分から話しかけられるだろうと簡単に思っていたのですが、行ってみるとやっぱり緊張してしまい自分が思うように上手く喋ることができませんでした。積極的に自分から話を投げかけたり、膨らませたりすることが最初の数日間では出来ずに少し悔しい思いをしました。ですが、私は様々な外国人の方からとても優しくいただきました。私が話に少しついていけない時は、私にも分かるように簡単な単語で言い換えて話してくれたり、日本人の私でも話に乗れる話題を出してくれたりとおーストリアの方々の優しさに実感しました。

さて、今回の派遣の前半の2週間はライオンズのユースキャンプでオーストリアのGRAZの近くの小さい町で世界のいろんな地域の16歳から22歳までの人と一緒に過ごしました。

このキャンプは音楽をテーマにしたキャンプ“Sound of music”でした。私は小さいころから音楽に色々な形で携わってきたので、音楽が好きで若人たちと一緒に音楽を通してたくさんの経験をさせて頂いたのは、一生の思い出です。このキャンプでは、2週間を通してオーストリアの民謡や、色々な国や地域の曲と一緒に練習して、キャンプの最終日にコンサートを開きこれまでの成果を発表します。コンサートの練習では、主に午前中はキャンプのスタッフの方が発表曲の練習を進めてくださり、午後はオーストリアの観光やレク、またコンサートの個人発表の練習でした。みんな和気あいあいと音楽を楽しみながら着々と歌を仕上げていきました。さすが音楽が好きなのであって、皆活発に歌の意見交換をしたりディスカッションをしたりと良い雰囲気の中で音楽と向き合えたなと思います。

キャンプの最終日、2週間というとても少ない時間の中でこれだけの良い友達が出来た事、音楽の素晴らしさ、偉大さに改めて感動出来た事に感謝しながら27人と歌えました。最初は人とうまく喋らなければならないと勝手に思い込んで、消極的になってしまったんですが、ステージで歌ってる時はもうそんな気持ちは何所かに消え、ただ純粋に人と一緒に何かに向かって頑張ることがすごく楽しくて、皆と一緒に頑張ってきて良かったと心の底から思いました。コンサートが終わった後は、皆と抱き合っただけで楽しかったなと話しました。

キャンプが終わった日から、ホームステイの方の所に2週間お邪魔

しました。私のホームステイ先のご家族は3人家族(スピルホーファーさん家)のとても和やかなお宅でした。

コンサートも見に来てくださり、良かったよと感想も言っていました。2週間ホームステイさせていただいて驚いた事は、やはり前から課題にしてきたコミュニケーション力が上がったなと感じました。この時から、文法や単語が間違わないかどうかも間違ってもいいから何とか自分から話しかけていこうとなり、英語を話すことがだんだん楽しくなっていました。スピルホーファーさんはいろんなところに連れて行ってくださりました。1870メートルもある山へハイキングしに行ったり、教会のオルガンのコンサートを聴いたり、ショッピングしたり…。とにかくオーストリアのいろんな見どころを知ることができました。

私の最初の海外がオーストリアで本当によかったです。着いた時は不安や恐怖でどうなってしまうんだろうと思っていたのですが、1か月で自分がいろんな面で成長できたなと感じます。オーストリアを旅立つ時に、キャンプの方たち、ホームステイの方たち、そのほかの方たちにも会えて心から感謝しました。海外派遣はこれで終了ですが、私の中では一生の宝物となりました。本当にありがとうございました。



太田 冴映

派遣先/スウェーデン

期間/平成28年7月21日~8月18日 | スポンサーLC/安曇LC



このたびYCE夏季派遣生として、スウェーデンから無事帰国しましたので報告させていただきます。私にとって初めての海外でしたので、出発前から期待と不安が交錯していました。

最初にストックホルムから500kmほど北に位置するソレフテオという街でPeterさん宅に6日間ホームステイをしました。森や湖など景色が美しい場所や街の中を案内していただいたり、スウェ



ーデンの伝統的なカネルブラーというお菓子を一緒に作ったり、イチゴ狩りにも出掛け、楽しい時間を過ごしました。お父さんたちがお留守の日はご両親が遊びに来て下さり、日本のお菓子を食べてみたいというので、一緒にみたらし団子を作って食べました。お口に合ったようで嬉しかったです。

お父さん以外英語が話せなかったこと、同い年の息子さんが部屋からめったに出てこなかったことが少し残念でしたが、私を温かく迎え入れて下さった家族の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

その後約3週間、ユースキャンプに参加しました。初めて19名の参加者と会った時、みんな同年代とは思えないほど容姿が大人っぽくとても流暢な英語を話していたので、これから上手くやっていけるのだろうかと不安になりました。最初の1週間は気後れしてしまい、積極的にコミュニケーションをとりに行けませんでした。そんな私を見かねたのか、トルコ人の男の子に「あなたは英語が上手くなりたくて来ているのでしょうか?もっとコミュニケーションをとるべきだよ。」と言われたのがきっかけで、私は些細な事でもできるだけ話しかけるようにしました。そんな努力の甲斐あってか、徐々にみんなの輪の中に入れるようになりました。自由時には各国の挨拶や言葉を教えあったり、国歌を歌ったりするなど楽しい時間を過ごしました。みんなはアルファベットと全く形の違う漢字に興味津々で、漢字の成り立ちを絵で描きながら説明するととても面白がっていました。みんなの名前を漢字に当て、書いた物をあげると喜んでもらえました。私が折り紙を折って見せると驚いて「繊細で綺麗!作りたい。」というので一緒に鶴を折ったりもしました。

ユースキャンプは、今回からキャンプ地を数日ずつで移動するというプログラムに変わったそうで、それぞれの土地で街の歴史について学んだり、伝統ある建物を見学したり、博物館に行ったりと勉強させていただきました。スウェーデンはどこも自然が美しく、高い建物がないため空が広く感じられ、景色が素晴らしいかったです。日の出は3時頃、日の入りは23時頃なので起きているときはずっと明るく1日がとても長いように思いました。私がこのプログラムで1番心に残っているのは、首都ストックホルムから約1200km北に位置するjokkmokk(ヨックモック)の森の中で伝統的なサミントを張りキャンプをしたことです。森の中だったので気温は低くとても寒かったのですが、池で釣りをしたり散歩したりとみんなです話す機会が増えよい思い出になりました。

この派遣を通して、ホストファミリーやキャンプの参加者たちと出会い、交流を深めることができたことは私にとって貴重な体験となりました。

お世話になった全ての方々に感謝しております。ありがとうございました。



小川 彩那

派遣先/ドイツ

期間/平成28年8月4日~8月25日 | スポンサーLC/軽井沢LC



夏季派遣YCE生としてドイツへ行きました。派遣期間は3週間と短かったのですが、毎日とても充実しており本当に濃い日々でした。

この派遣の体験は日本で生活していたら感じる事が出来ないものでした。それは楽しいだけではなく、とてもつらいものもありました。

まず文化の違いです。私は英語しか話せません。ドイツは英語も通じますが、私のホームステイ場所はドイツ第3の都市であるミュンヘンから120キロほど離れた場所にあり、オーストリアとドイツの国境にあるとても自然豊かな田舎町でした。この村では英語と触れ合うことなく生活している人が都市部よりも多く、英語が通じない場面に何度も出会いました。言葉が通じない生活はとても大変で、自分の意思を伝えるのが困難でした。まるで私は生まれたての赤ちゃんのようでした。コミュニケーションのほとんどが日本から持参したペンで紙に絵を描いたり、ジェスチャーをしたり言葉以外のツールを用いて工夫していました。

また、家族の関係も日本とは異なっていました。ドイツでも様々な形の家族がありますが、今回のホストファミリーは、家族間の距離がとても近く、夫婦の愛情表現もとても豊かで、私は最初理解できませんでした。それどころかその関係性に戸惑い、なかなか家族の輪に入ることが出来ませんでした。しかしそれは、文化の一部であると考え改め、自分から積極的に輪に入るよう努力しました。

この3週間の間にドイツだけでなくオーストリアも観光しました。たとえば国内ではミュンヘンへ行ったり、私の大好きなBMWのミュージアムへ行ったりドイツの現代を感じる事が出来ました。さらにドイツの歴史についても学びました。その一つがヘレンキームゼー城です。これは、バイエルン王ルートヴィヒ2世が建築した城です。この城について説明すると、彼は1845年に誕生し、3つの城「リンダーホフ城」「ノイシュヴァンシュタイン城」そして最後に「ヘレンキームゼー城」を建設しました。1878年にヘレンキームゼー城の建設工事を始めますが、資金不足のため1885年工事を中断しました。ルートヴィヒ2世は太陽王フランスのルイ14世に心酔しており、ヘレンキームゼー城は特にルートヴィヒ2世のための小さなヴェルサイユ宮殿と言われています。実際に中を見学してみるとフランス製の家具やルイ14世の肖像画が飾ってあったり、本当に心から敬愛していたと感じました。

今回の派遣で最大のイベントは、ドナウ川を7日間かけて総計400キロサイクリングしたことです。ドイツはサイクリングが盛んで専用の道路も整備されていたり、サイクリングツアーが充実しています。今回もツアーを利用しました。そのツアーのおかげでホストファミリーだけでなく10人ほどの学生たちとも交流することが出来ました。

しかしこのツアーは体力的にも精神的にもとても疲れました。な

せなら毎日60キロペースのサイクリングによる疲労と学生たちのアジア人を揶揄する言葉で傷ついていたからです。

これはとてもつらい経験でした。しかし自分の主張をはっきり言わないと分かってもらえないドイツでは私から嫌だという自己主張をすることが求められました。私はその思いを手紙に託し、学生たちの前で訴えました。私の思いは伝わりその日以来、そのようなことはなくなりました。それはとても感動的でものすごく自分は成長したように感じました。そして7日間のツアーを終えて無事に完走したあともものすごい達成感がありました。

今回の短期派遣研修を終えて思うことがあります。それはその国に柔軟に対応することです。もちろんこれらの短期の留学は目標をもって行くことは、とても大切だと思います。しかしその国々にある文化を柔軟に受け入れる姿勢はもっと大切であると感じました。私は最初それが出来ずものすごく悩んでいました。受け入れ始めて気が付いたこともあり、郷に従うことの大切さを学びました。

ライオンズクラブのみなさまのおかげで、本当に素晴らしい体験が出来ました。心より感謝しています。ありがとうございました。この経験を将来に生かしていきたいです。そして今回の経験をライオンズクラブの方針である世界平和に少しでも貢献できるようにもっと様々な知識を吸収していきたいです。



渡邊 日緒里

派遣先/ニュージーランド



期間/平成28年8月8日～8月29日 | スポンサーLC/伊那LC

8月8日から29日の約3週間、私は南半球のニュージーランドへ行ってきました。他のニュージーランド派遣生8名とは現地での合流となりました。ニュージーランドでは全日程ホームステイで、初めの4日間は北島にあるヘイスティンクスで、そして残りの2週間は南島クライドで過ごしました。ヘイスティンクスでは毎日他の派遣生と、現地のライオンズクラブの方々と共に様々なところへ行き沢山の美しい景色を見たり、アクティビティーをしたりしました。その中でも印象深く私の心に残っているのがマオリの女子高校への訪問です。昼の授業から夕食まで生徒の皆さんと一緒に行動しました。その中で彼女たちは私たちにマオリ族の歌とダンスを披露してくれました。美しい歌声とリズム、ポイと呼ばれる紐の先に綿を詰めたボールの付いたものを器用に使った躍りに、伝統や祖先たちに対する誇り・愛を感じとても感動しました。ニュージーランドにおいて



マオリというのは常に身近にあり、この女子高校の生徒だけではなく、この国の皆が伝統を当たり前を持っていました。多くの人が翡翠で作られたマオリの伝統のアクセサリーを持ち、公園の遊具にはマオリ語の数字が書いてありました。マオリ語の歌を覚えてもらった時には、周りの人は一緒に口ずさんでいました。同じ国の誰もが共通に自国の民族の文化を守り、継承しているこの国は私にはとても魅力的に感じました。

もうひとつニュージーランド派遣で私の心に残ったことは、日本文化が広まっているということです。私がニュージーランドに到着した初日にはスシショップで巻き寿司を食べ、ホストファミリーの家では巻き寿司やうどん、天ぷら、煮魚を作りました。スシが好きだという人が非常に多く、初めて食べるという日本食もとても好評で、日本の食文化が広く受け入れられていると感じました。小さな子供たちと遊んだ時には折り紙を出すと、「保育園で作ったことあるよ」という子供もいて、驚き、それが日本固有のもので地球の反対側の国にも広まっているということを誇りに感じました。さらに、3週間の滞在の中で出会った沢山の人が日本語に興味を持っていて、実際に勉強しているという学生にも出会いました。最後の2週間を過ごしたクライドでライオンズクラブの植樹活動に参加した際に出会った男性の妻が日系ハワイ人の方で、高校で放課後に1人の生徒に日本語を教えているということで、その方のサポートとして高校を訪れました。その学生は日本語だけではなく、生活や文化にもとても興味を持っていてどんな話も楽しそうに聞いてくれました。食事の前には「いただきます」、後には「ごちそうさまでした」という挨拶の理由を聞かれたときに、食事を作ってくれた人、食材を作ってくれた人、そして食材となった命に対してのありがとうという気持ちだと話すと、とても感心されました。このときに私はこの挨拶は日本人のこころを表しているなと感じました。日本人は昔から、すべてのものに神様が宿っていると感謝し、大切にしました。日本にいるときはそれがあたりまえとなり、挨拶の意味について考えたこともありませんでした。ニュージーランドで改めて、ものに感謝し大切にするという文化が日本にあることに気が付くことができました。

今回の派遣が私にとって初めての海外経験でした。3週間の生活の中でここには語り切れないほど沢山のものを得ましたが、いま日本へ帰ってきて一番感じているのは日本人であること、日本という国を誇りに思う気持ちです。そして日本をもっと多くの外国人に知ってほしい、日本を好きになってほしいと感じました。

このような貴重な体験をする機会を与えてくださったライオンズクラブ様、そして現地でサポートしてくださった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 海外からYCE生を迎えて



〈滞在報告〉

**Tobias Heibges**

トビアス・ヘイベッグ 〈ドイツ〉



まず、僕はホストファミリーにとっても感謝していることを伝えなければなりません。彼らは、本当にとっても親切で、僕のために準備万端に計画してくれました。他にこれほど素晴らしいホストファミリーがいるとは考えられません。言葉の障害などのいくつかの問題は多少ありましたが、これは最新のテクノロジーの助けを借りて簡単に解決できました。

キャンプで出会った他の大勢のYCE生たちとは違って僕はホストファミリーを、変える必要がなかったので、とても良かったです。僕の考えでは、それは滞在期間があまり長くないということや、ずっと同じだということは安心して過ごすことができるからホストファミリーがずっと同じだいいと思います。

多くのことが方法においてそれぞれの故郷例えばドイツなどと違っているからです。日本文化を別の観点から見ると他の見方があるかも知れませんが、日本文化はヨーロッパの文化とだいぶ違っているのでこの違いは助けになるというより困惑させられると思います。僕の意見ですが、1つのものを一定のままにすることは非常に重要です。その1つのことはホストファミリーです。

僕のホストファミリー滞在に関していえば、東京や地元の神社へ行ったり、たくさんの様々な食べ物に挑戦したりとたくさんの興味深いことをさせていただきました。私はすべての様々なことに感謝しています。そして、いつも彼らは僕のために忘れられない経験をさせてくれるために連れて行ってくださいました。私が日本の学校においてどのように活動しているか見学するために学校やブラスバンドの練習に参加させていただき、岡谷南高校と岡谷北部中学校に感謝しなければなりません。

将来の青少年交換にたいする私の唯一の提案は、キャンプのためにもう少し高い料金を請求し、ホストファミリーには追加のお金をわたすことです。そのことはたとえホームステイした人は誰でも他の人をホストしなければならないし、彼らの生活の代金を払わなければならないということであるかもしれません。それでも、そのことはホストファミリーがその人の生活に多くのお金を払って、故郷からの若干の小さなプレゼントは別として多くのものを受け取っていないということを参加者に気付かせることになると思います。

それでも、私はとても滞在を楽しんで、またこのようなプログラムを皆に薦めたいと思います。

ホストファミリー 宮下 猛

トビアス・ヘイベッグ (ドイツ)

ホストクラブ/1R・1Z 【岡谷LC】 | 期間/平成28年7月12日~8月4日

YCE生受け入れを悩む私たち夫婦を口説き落とされた岡谷LC青少年指導委員会。私は渋る子供を物で釣り、来日を待つことに。  
Hello Tobias!

7月12日午後、クラブメンバーと我が家にやってきた彼はゾーリングゲン在住の18歳のドイツ人。英仏語が堪能、会計士でLCメンバーの父親と医者のお母さん、妹の4人家族。趣味は楽器演奏と登山、

嫌いな物はきのこ。キャビネットからのメールと君からのメールで君の事はよく知っているよ。

さあ、これからJAPANでの3週間余りの生活が始まるぞ。我が家は妻と高2の長男、中2の長女、小5の次女の5人家族。楽しく、仲良くやろうぜ。と、日程調整、段取りに追われたこの3か月。受入準備は万全。しかし唯一の問題は言葉。現代テクノロジーのスマホの翻訳アプリ。

これが頼みの綱。あとは勇気!と思っていたが、英語が堪能なメンバーも帰り、会話が始まった瞬間、額から汗がダラダラ。大丈夫か俺?どうしよう3週間。かなりへこむ。

初日は家族の紹介の会話から、彼からのお土産をもらい、YCEのマニュアルどおり、普通の夕飯を食べさせました。さすがに10時間のフライトと8時間の時差と緊張。

疲れには勝てず、9時半には就寝。我が家(特に自分)も疲れて全員就寝。いよいよ始まったYCE生受け入れプログラム。

Let's enjoy tobi!

昨夜から爆睡、彼が起きてきたのは10時半位でした。子供達は学校へ、私も仕事の段取りを終わらせて帰宅。今日からはずっとこんな生活に。初日は諏訪湖周回ドライブ。イマイチの天気の中、諏訪大社など散策して夕食は家族と岡谷LC委員会主催の市内和食店へ。

和食の中でもお気に入りのは魚の天ぷらと和牛でした。その後の2日間は長男の高校授業と長女の中学の吹奏楽部練習、伝統文化体



験講座などの学校参加。やはり同世代の子供達、明るく楽しく接してくれた様で本人も楽しかったとの事。快く受け入れて頂いた岡谷南高校、北部中学校の先生方には感謝致します。

後日の岡谷市長表敬

訪問も終わり、首都東京見物。メンバー2名とスカイツリーと浅草、都内見物をしました。楽しんでいました。

奮闘する毎日もようやく1週間が過ぎ、7月19日から彼はユースキャンプへ。この間の安堵感はありませんでした。

そして7月26日~後半戦スタート。後半はかなりのハードスケ



ジュール。

岡谷LCメンバー全面協力のもと、メンバーとブルーベリー狩りBQ、お寺体験、食事会、EPSON工場見学、クラブ家族親睦会、湖上花火見物、1Rキャンプと。

家では祭見物、上諏訪温泉泊、松本城、友人家族20名とのBBQ、最後のホームパーティーも長女のサックス仲間による演奏会、彼の料理と盛りだくさんで全く休めない日程。

お別れ当日は元気で涙ぐむ妻と家族に見送られ、空港まで送っていただいたついでにとどめの海水浴とのこと。彼の帰国メールには素晴らしい生活をありがとう。帰宅した瞬間にベッドに崩れ落ちたとのことでした。

Good-bye tobi...

(中略)



### 〈滞在報告〉

Jovana Lozanov

ジョバナ・ロザノフ〈セルビア〉



最初の13日間長野県の東御市の後藤家に滞在しました。彼らはいろいろな場所に連れて行ってくれ、また日本の習慣についても紹介してくれました。茶道の練習にも行き、そこで初めて日本のお茶と和菓子に挑戦しました。日本茶の初め一杯は少し奇妙な味がしましたが、そのうちそれにも慣れ何杯も飲みました。

(中略)

ホームステイで一番良かったことは東京に行ったことです。そこで私は都市の中心や寺やスカイツリーを見、東京を楽しみました。後藤さんのところに滞在中、キャビネットではドイツからのYCE生のトビアスと私のためにキャンプを計画してくれました。そこでも素晴らしい人々に出会いました。ミニキャンプの後、最初のホストファミリーに戻りました。ホストファミリーのお母さんのお料理はとても素晴らしかったです。今まで食べたことなかったものでした。彼女は英語がわかりませんが、それは何の障害にもならず、私たちは良い友達になりました。

最後に彼らと一緒に過ごさせていただき、いろいろな場所に案内していただきホストファミリーには感謝しなければなりません。彼らはとても素晴らしい人で将来また彼らにもう一度お会いするでしょう。

最初のホームステイの後、二番目のホームステイの尾澤家に行きました。10日間私は長野県上田市の小澤家に滞在しました。ホストファミリーのお父さんはいつも私たちがすることやどこかに行くためのとても良いスケジュールをたててくれました。彼らは私にとって日本の習慣と同じくらい興味のあるところに連れて行ってくれました。初めて着物を着ました。そしてそれはとても良かったです。上田、日本アルプス、長野市、そしてたくさんの神社やお寺の観光にも行きました。ホストファミリーと過ごした毎日は特別なものでした。

(中略)

尾澤一家は世界で一番素敵なお家族です。彼らに別れを告げることはつらいです。もう一度彼らに会いたいと思います。今回は最初の日本訪問でした。そこで素晴らしい家族と過ごしました。再び

日本に来ます。

一言でいえば素晴らしいみなさんありがとうございました。私はライオンズクラブ青少年交換でたくさんの経験をしました。これは私にとって特別なことでした。またこの素晴らしい青少年交換プログラムを行った日本ライオンズクラブに感謝いたします。

ホストファミリー 後藤 誠

ジョバナ・ロザノフ〈セルビア〉

ホストクラブ/4R・1Z【東御LC】 期間/平成28年7月14日~8月3日

7月14日、前泊してセントレア空港にて、セルビアからのYCE生をお迎えする。ここで一つトラブルが発生。当日は静岡からのホストファミリーの方であろうか、やはり交換留学生二人をお迎えする方がおられた。小生が約束通りセルビア国旗とプラカードを持って、その方の隣で待っていた。するとゲートを出て来た彼女を自分が迎えるYCE生と思いこみもう一人のYCEと彼女を連れていってしまった。空港ロビーでキャンプ費用のことを話されている内に違う人物と判明し、到着ロビーで待っている小生を呼びにきてくれ、難なく彼女を連れて長野迄帰る事ができた。複数のYCE生をお迎えするには違ったその場で本人を再確認する必要がある事を痛感した。

生活はなるべく普段通りを心がけ、毎日の食事の前には「いただきます」と終わったら「ごちそうさま」を一緒に発声し、楽しく会話が出来た。食事の後はいつも自分のこと、家族の事、をよく話してくれました。片づけは毎日一緒にするように心がけ、彼女もそれが当たり前のように手伝ってくれました。又近所のお茶の先生に椅子席の茶道を教えて頂き、初めての作法、お茶の味を体験してもらった。よく味わうと美味しく、又、和菓子もとても美味しかったと話してくれました。農業体験も知り合いの農家で野菜の定植体験。はとバスツアーと東京スカイツリーにも行き、首都東京を実感してもらった。

滞在中に清掃奉仕活動にも参加させ、東御LCの納涼例会では、辺見ゾーン・チェアパーソンにも出席頂き、盛大に盛り上がりました。

二次会のカラオケでは東御クラブの女性達と英語の歌を熱唱、とても楽しく交流が出来ました。彼女は食べ物の好き嫌いが無く、ワサビ以外はなんでも食べ、特に回転寿司では美味しそうに喜んで寿司を食べた姿が今でも印象に残っています。幸いなことに彼女はとても健康な体で病気もせず楽しく明るく過ごせたと思います。





ホストファミリー 尾澤 英夫 ジョバナ・ロザノフ (セルビア)

ホストクラブ/4R・1Z 【上田LC】 期間/平成28年8月4日～8月13日

8月4日より13日までの約10日間、東御LCより引継ぎ、セルビア国からの交換留学生「ジョバナ・ロザノフさん」を迎え、我家としても思い出の今年の夏を過ごしました。受け入れは2度目、また何度かの外国人との交流のときを経験しているが、その接し方を先ず家族と考え、フォローしてくれる方々の予定をお伺いし協力を求めプランを立てた。

私と家内は飲食業であり一日終始彼女と過ごせはしない。朝食からその日のミーティングを娘の通訳にて、その日の行動・協力して下さる方々の説明をし毎日が始まった。

職場体験。当店の弁当盛り付け・他クラブ仲間ライオンを通じての祭りイベントでの模擬店手伝い。LC参加。上田城南LC主催青少年野球大会での開会始球・当クラブ主催献眼運動街頭呼びかけ・例会出



席スピーチ。白馬・戸隠・長野・東京・上田地域にて文化に触れることを優先した観光。そして、会食をも伴なう事も度々の中、当地に住む外国人を含め約60名以上の方々と交流を持ち、充実した時を過ごしてくれたのではと自負している。



家内とスーパーで夕飯の買物をし、重いだらうと荷物を持ってくれたそう。買物をしカードが使えず現金を貸したら、次のコンビニにてすぐさまキャッシングをし返金してくれた。別れの日、彼女だけのために沖縄民謡にて見送ったら、ポロポロ泣いてくれた。出発の最後の最後まで、空港からラインでありがとうを送り続けてくれた。時間はじめマナーを守るとても良い娘さんでした。

「打てば響く」そんなことを今回の経験で思い出しました。助けてくれ協力してくれた家内・娘、当店社員、地域の友人、心あるLCメンバーのご協力に感謝申し上げます。

「安請け合い 叶ったときのありがたさ」

## 夏季キャビネットキャンプ実施報告

開催日/8月1日～2日 場所/長野県望月少年自然の家

地区YCE第2委員長 L.横山篤司【小諸LC】

8月1日から2日の二日間、望月少年自然の家で334-E地区初の夏季キャビネットキャンプを開催しました。目的は①ホストファミリーの負担軽減すること②YCE派遣OB生の活躍する場(リーダーとなる為の機会と経験)を提供することです。開催人数は来日生2人、OB生3人、キャビネット関係、YCE委員等延べ25人と、盛大に開催できました。高原のキャンプ地を生かして、マレットゴルフ、屋外での飯盒炊飯、BBQ、キャンプファイヤー、花火等盛り沢山のアクティビティーが出来ました。来日生の笑顔はもとより、YCE-OB生のいい笑顔、そして我々ライオンズメンバーの笑顔が弾けていました。

### 【キャンプの収穫点】

①ホストファミリーの負担軽減②OB生が自己スキルアップの場であることへの理解、語学力の向上ができる場という認識が出来た③YCE委員会の団結力の強化④青少年達と楽しく触れ合うことが出来た

### 【課題点】

①OB生の参加が少なかった②予算不足のため一部委員に負担していただいた③委員の方の時間・肉体的負担が重い④全てが初めてで手さぐりであった

### 【今後の検討事項】

①ルーチン化に向けてシステムづくり②ガールスカウトや地域団体との連携③YCE-OB会予算化④YCE委員の負担軽減

### 【YCE事業未来像】

青少年のリーダーとなる機会と経験を提供し、将来は、地域社会、日本、世界のリーダーとして活躍する人材が輩出されることを目的とし、次世代のために人材育成・貢献をする事業に育てていく

今回の初のキャビネットキャンプ開催に当たりガバナーをはじめ多くのクラブメンバーから応援をいただきました。深く感謝いたします。今後も引き続き、YCE委員会は青少年育成のために活動をしていきます。



# クローズアップアクティビティ

■1R・1Z 諏訪湖LC 2016年7月30日

## つつじが丘学園植樹及び交流会



本年度会長方針のひとつ「青少年の健全育成・環境保全活動の取り組み強化」から岡谷市にある児童養護施設の子供達と、メインアクティビティ例会\*つつじが丘学園植樹及び交流会。と称し、学園の庭に環境に配慮した植樹をおこないました。その後クラフトづくりや、昼食のカレーづくり、釣りにアスレチックにハイキング等を開催。今後も、子供たちの自主性や創造性を大切にしながら、未来を応援していきたいと考えています。

■1R・1Z 諏訪湖LC 2016年8月16日

## 第68回諏訪湖花火大会後清掃



約50万人が訪れた第68回諏訪湖祭湖上火花大会の翌日16日早朝、諏訪湖畔清掃へ本年度も清掃ボランティアとして当クラブも参加いたしました。昨年度のごみの量は約34トン。今年は昨年より2.41トン減少したとのこと。この日も朝6時から1時間ほど、清掃活動に皆、汗を流しました。

■1R・1Z 茅野LC 2016年7月12・14・21日

## 薬物乱用防止教室



7月12日茅野市 東部中学校 3年生148人  
7月14日原村 原中学校 2年生69人  
7月21日茅野市 永明小学校 4年生105人  
小中学生を対象に主にタバコの害について薬物乱用防止教室を開催しました。タバコの有害物質による身体への害は、本当に恐ろしいもの。悪い誘いに乗らないようにしましょう。これからの学生生活や人生を明るく楽しいものにして下さい。

■1R・1Z 茅野LC 2016年8月6日

## ちのどんぼん「献眼 登録」「レオ太鼓」



茅野市の市民祭「第41回ちのどんぼん」市民館イベント広場にて、献眼登録をお願いしました。とても素晴らしいPRの場となりました。また夜の踊り連において、レオクラブ総勢18名で太鼓を打ちました。数多い太鼓グループの中でメインイベントの踊り時に太鼓演奏はレオ太鼓が唯一です。

■1R・1Z 下諏訪LC 2016年9月10日

## 第36回 鮮魚配布



今年も姉妹クラブの南知多ライオンズクラブより、取れたての新鮮な真鯛3tを町民の皆さんに無料配布。会場には、毎年楽しみにしている町民の皆さんが早朝より長蛇の列に並び、配られた鯛を袋に入れて持ち帰られました。町の農業祭も同時に行われ、南知多町の海産物の販売にも大勢の人がつめかけました。

■1R・2Z 駒ヶ根LC 2016年9月4日

## 駒ヶ根市 「ふれあい広場」参加



今年32回目となるふれあい広場は、市内の各種団体や福祉施設、学校など約100団体が参加し、楽しみながら福祉活動や社会奉仕に取り組む各団体への理解を深めています。当クラブは、今回初めてブースを設け献眼や献腎などへの協力を呼びかけました。特に献眼登録では43名の皆さんから眼球提供登録申込書をいただきました。心から感謝いたします。

■1R・2Z 駒ヶ根LC 2016年10月19日

## 中央アルプス美化清掃



10月19日(水)中央アルプス美化清掃が実施されました。駒ヶ根・宮田高原を美しくする会が主催し、地元の企業や山岳会など様々な団体が参加して、毎年1回行われます。この日は、天気にも恵まれて、すがすがしく景色を楽しみながら活動出来ました。きれいな山をいつまでも守っていききたいものです。

■1R・2Z 辰野LC 2016年8月15日

## 成人式 献眼登録



今年度も辰野町成人式会場にて、献眼登録のブースを設け、「二十歳の記念に献眼を!」と呼びかけ受付を行ないました。登録者は、新成人他33名より協力をいただきました。町内ではこれまでに約8千人が登録し、80名が献眼しています。

■1R・2Z 辰野LC 2016年8月21日

## 第38回辰野ライオンズクラブ旗少年野球大会



第38回辰野ライオンズクラブ旗少年野球大会が、北大出富士山グラウンドで開催された。町内の小学校を中心に5チームが熱戦を繰り広げました。また、町少年野球連盟へボール2ダースを贈呈いたしました。

■1R・2Z 飯田長姫LC 2016年7月29日

松川ダム周辺環境整備看板維持作業



7月29日(金)朝6時より、全員参加対象にて、看板周辺の草刈り、ゴミ拾い、看板の清掃等を行いました。

飯田地区3LCの当番制にて、毎年交替で清掃の実施をしております。

■1R・2Z 飯田長姫LC 2016年10月10日

第62回風越(かざこし)登山マラソン大会 主催



10月10日(月)体育の日、飯田市、飯田長姫LC等主催にて、第62回風越(かざこし)登山マラソン大会が開催されました。

受付、走路警備、表彰状筆耕、ドクターライオンによる救護係(AED持参)など、総勢40名程の会員にて、参加、協力致しました。

700名近い参加応募があり、大きな事故・怪我等もなく、無事に開催できました。

■1R・2Z 飯田赤石LC 2016年7月31日

第23回飯田赤石LC杯少年野球大会



飯田地区の少年野球16チームが参加し熱戦が繰り広げられた。野球を通じて、チーム一丸となる姿、挨拶をはじめ礼儀正しい行動が青少年育成に貢献。大勢の保護者の応援のもと、子供たちの元気一杯のファインプレーに大きな声援がおくられた。優勝・準優勝チームには、金・銀のメダルが会長より子供たち一人ひとりに渡された。子供たちにとって、このメダルもLC杯の魅力で、練習の励みになっているようです。

■1R・2Z 飯田赤石LC 2016年7月18日

サマー献血



アピタ飯田店駐車場にて、恒例となった「サマー献血」を実施した。飯田女子短期大学「保健奉仕サークル」の協力もあり、スムーズに行われた。猛暑であったが、多数の献血者があった。

採血量は、買い物客、会員家族、従業員など大勢の協力により目標を達成することができた。

受付 102名 採血者 86名  
400ml 86名 合計 34,400ml

■2R・1Z 長野LC 2016年9月19日

長野フィルハーモニー管弦楽団 障がい者招待



9月19日、ホクト文化ホールにて「長野フィルハーモニー管弦楽団演奏会」が開催され、「青少年育成事業及び長野ライオンズクラブ55周年記念事業」のアクティビティの一環として、長野市内の障がい者施設24団体、約250名の障がい者の皆様とそのご家族をお招きしました。当日参加した多数のライオンが入場時の案内・車椅子の誘導や会場の案内などをお手伝いしました。

■2R・1Z 長野LC 2016年10月29~31日

長野LC旗争奪信越選抜少年硬式野球大会を開催



今年も長野ライオンズクラブ旗争奪信越選抜少年硬式野球大会が開催されました。大会は42回目、今年はクラブ結成55周年記念事業として、元巨人軍桑田真澄投手をお招きして節目の大会として大いに盛り上がりました。

今大会は記念事業でもあり準備に多くの時間と労力を費やしましたが、晴天にも恵まれ大成功に終わりました。本大会を来年度以降も継続して開催し、青少年の健全な育成を支援して参ります。

■2R・1Z 長野LC 2016年10月30日

長野市環境子どもサミットを開催



10月30日、新しくなった長野市芸術館アクトホールにて「第21回 長野市環境子どもサミット」が開催されました。今年はクラブ結成55周年記念事業として節目の開催となり、長野LCは実行委員会の委員長を務めているほか、クラブとしても共催しています。ホール内ではサミットが開催され、子供達からの環境学習の発表や、行政による講演会、環境標語の表彰式等が行われました。

■2R・1Z 長野グリーンシティLC 2016年10月8日

青少年健全育成事業チャリティーコンサート



「清水アキラ&清水良太郎 ザ・ものまねチャリティーコンサート」を長野みずすLC、長野山ノ内ゆけむりLC、長野グリーンシティLCの3クラブ合同アクティビティとして開催いたしました。

開催にあたり、快くご理解とご協力を頂きました関係者の皆さま、会員の皆さまに感謝いたします。

■2R・2Z 中野LC 2016年10月8日

献眼登録PR活動



健康づくりフェスティバルの開催に伴い、献眼登録PR活動を実施。19名の登録を頂きました。

又去る9月23日には、中野市ふれあい広場の開催に伴い同じくPR活動を実施。32名の登録をして頂きました。今までに無い大勢の登録者の人数で、今後も積極的にPRを継続していきます。

2R・2Z 中野LC 2016年10月13日

献血デー



献血デーにつき、9月に各企業を周りPRに努めた。

当日は55名の方が来て下さり、22,000mlの成果を挙げることができました。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

2R・2Z 飯山LC 2016年9月14日

青少年育成及び環境保全事業「さかなの放流」



青少年育成及び環境保全事業「さかなの放流」を行いました。当日は水量はやや多めでしたが、青年会議所の皆さんにお手伝いいただき、安全第一に鮎の稚魚約10キロを千曲川へ放流することが出来ました。

園児の皆さんには自然の大切さを説明し、最後にノートの記念品を贈呈しました。

2R・3Z 長野中央LC 2016年8月8日

第25回長野市長杯・長野中央LC杯 中学生サッカー大会



長野中央LCの継続事業である「長野市長杯・長野中央ライオンズ杯中学生サッカー大会」は、まだ梅雨空の7月9日(土)より予選大会が始まり、予選を勝ち抜いた16チームにシードの8チームを加えた計24チームにて7月23日(土)から決勝大会、8月8日(月)には、優勝決定戦、3位決定戦、表彰・閉会式が行われ、26名のライオンにご出席いただきました。【試合結果】優勝/JFC須坂ヴェンセール、準優勝/東北中学校、3位/中野平中学校、4位/川中島中学校

2R・3Z 長野中央LC 2016年10月2日

第9回 フードドライブ



10月2日、「第9回フードドライブ」が善光寺表参道秋まつりの特設ブースにて開催されました。今回はE地区の2R-1Z・2Z・3Zのゾーンチェアパーソンを筆頭に14クラブの共催、また多くの企業、一搬参加協力者の賛同もいただき、大きなアクティビティとなりました。この事業が、世界のLCを通じて多くの飢餓者を救うアクティビティに発展して行くことを願います。

2R・3Z 長野篠ノ井LC 2016年7月26日

厚生労働大臣より献血推進への貢献で感謝状を拝受



献血推進に貢献したことに対し、塩崎泰久厚生労働大臣からの感謝状伝達式が、7月26日長野県保健福祉事務所までとり行われ、寺澤昇会長が出席しました。

この受賞を機に、献血推進活動にクラブ一丸となって取り組んでいく決意を新たにしました。

2R・3Z 長野篠ノ井LC 2016年8月23日

大岡小学校で大根の種まき



8月23日朝からの雨もすっかり晴れ上がった大岡村の畑で、大岡小学校生徒のみなさんと一緒に大根の種まきをしました。子どもたちは11月に大根を収穫し、その大根売上金の内からラオスのトンコー村小学校へ支援金を送ります。

トンコー村小学校は、当クラブ40周年の記念事業として建設した小学校です。

2R・3Z 長野白樺LC 2016年7月30日

24時間テレビ協賛 チャリティー食事会



今年で第19回目となる、長野白樺LC主催、テレビ信州共催の「24時間テレビ チャリティー食事会」を開催。県内の福祉施設より108名の皆様に参加いただき、司厨士協会・和食中国料理有志の会の方々の前日より仕込み用意いただいた、おいしいお料理を堪能していただきました。締めには福祉施設の代表者と、社会福祉協議会の方よりお礼の挨拶があり大変喜んでいただきました。

2R・3Z 長野白樺LC 2016年8月20・21日

長野白樺LC presents 2016-2017 Warriors Cup



当クラブ協賛として5年目を迎える「長野白樺LC Warriors Cup」が8月20日・21日の2日間にわたり、男女3会場で開催されました。

本年はオリンピックも行われました。この中から未来のオリンピック選手が育って頂いたらこんなに嬉しいことはありません。今後も青少年健全育成継続事業の一つとして、未永く応援できればと思います。【男子優勝】長野市立松代中学校、【女子優勝】長野市立東北中学校

2R・3Z 長野みすずLC 2016年7月11日

7月信州あいさつ運動



朝7時30分より、トイゴ広場にて「7月信州あいさつ運動」を実施しました。

沢山の皆様より「お早うございます…」のあいさつを頂きました!

■3R・1Z 松本LC 2016年7月21日

献血



2016年7月21日(14時～16時)に泉精器製作所様にて、献血が行われました。

受付者数25名、献血者数24名、献血量9,600mlの実績となりました。

■3R・1Z 松本深志LC 2016年8月7日

長野県護国神社境内清掃、及び恒久平和祈願、参拝



長野県護国神社(松本市美須々)に於いて午前6時より神社境内清掃奉仕活動を開催しました。

本殿に参拝し、玉串を捧げ、恒久平和祈願の参拝も行いました。

終了後は、松本美須々会館にて岩間彦次会長より挨拶。

護国神社より振る舞って頂いたすいとんを味わいました。

■3R・1Z 松本深志LC 2016年10月18日

長野県松本ろう学校ふれあい事業



10月18日に恒例となった長野県松本ろう学校ふれあい事業を実施。

当クラブが40年以上続いているアクティビティで、会員7名が参加。幼稚部から専攻科まで、LP、牧島礼子の指導のもと松本ほんぼん教室を行ない、全員が一緒に踊りました。また昨年同様に茶室を設営し、生徒さんにお抹茶をたてて頂いたり、専攻科ではドローンコプターを実際に飛ばして、講習会を行い生徒達との交流を深めました。

■3R・1Z 松本アルプスLC 2016年9月3日

[グリーン大作戦] エクセラン高校と合同清掃奉仕活動の実施



当クラブは、エクセラン高校が年1回、全校生徒、教師、保護者で実施している清掃奉仕活動「グリーン大作戦」に協力しております。

当クラブからは5名が参加し、生徒、保護者、教師約400名と共に、高校周辺、薄川河川敷、弘法山公園、駅前通りと分かれて作業を行いました。

クラブより学校へ飲物の差入れをいたしました。

■3R・1Z 松本アルプスLC 2016年9月28日

エクセラン高校・未来ビジネスカレッジ献血協力奉仕活動の実施



当クラブは、毎年高校、大学での献血協力奉仕活動を実施しております。

9月28日(水)の午前にエクセラン高校、午後に未来ビジネスカレッジで活動を実施しました。

【エクセラン高校】献血者数:23名

【未来ビジネスカレッジ】献血者数:11名

■3R・1Z 松本中央LC 2016年7月14日

中学校で救急救命講習会



松本市波田中学校1年3組にて、松本広域消防局の協力の下、AED救命講習会を実施しました。AEDの認知度が高くなり、設置場所も多くなってきた現在、松本中央LCでは、万が一の場合に遭遇した時に、的確な早い対応で一人でも多くの命が救えるならばと考え、事業の中にAED講習会を取り入れ、毎年クラブ員を対象とした救命講習会を開催してきました。若い人たちにも、AEDを身近に取り扱える核になってもらいたいと考えております。

■3R・1Z 松本中央LC 2016年8月2日

松本児童園・夏のアクティビティ(園児と楽しくソバ打ち体験)



8月2日(火)、松本中央LCの恒例アクティビティとなっている松本児童園の園児・職員らとの夏の交流会が行われ、園児や職員、ライオンら60数名が参加して楽しい半日を過ごしました。

今年は園内の食堂で講師の方々の指導の下、子供たちとのソバ打ち体験を行いました。ライオンと子どもたちとの共同作業で出来た蕎麦を皆で美味しくいただくことで、より深い温かなコミュニケーションが出来たと思います。

■3R・2Z 安曇LC 2016年7月24日

第47回中信地区少年柔道・剣道大会



第47回中信地区少年柔道・剣道大会の柔道大会が安曇野市豊科武道館で開催された。当クラブは永年にわたりこの大会に協賛してきており、今年も協力させて頂いた。最近の青少年の柔道人口が減少傾向で、大会の参加者も少なくなっているようですが、迫力ある試合が展開されました。

■3R・2Z 白馬LC 2016年7月19日

神城断層地震復興祈念事業



平成26年11月22日午後10時08分頃発生した、神城断層地震被害の復興を記念して次の事業を実施いたしました。

1.被災場所の中心に場所である、オリンピック道路に接している、サンサンパークに大時計を寄贈した。

2.同公園の祈念植樹(ナナカマドの苗/10本、ヤマボウシの苗/10本)を行った。植樹は神城小学校の緑の少年団によって行っていただきました。

■3R・2Z 穂高LC 2016年10月24日  
ライオンズ文庫



安曇野市庁舎において、安曇野市穂高地区の小・中学校5校のライオンズ文庫へ、図書購入費用として10万円の助成金を贈呈いたしました。市を代表して宮澤安曇野市長にお受け取りいただきました。子供たちが本を読むことで豊かな発想力やコミュニケーション力を身に付け、将来に生かしていただきたいと思います。

■3R・3Z 塩尻桔梗LC 2016年7月18日  
「森の音楽隊とその仲間たち」の慰問演奏



塩尻社会福祉協議会ひだまり会からのご依頼により慰問演奏。  
昨年の演奏に続き好評の為、今年も依頼が有り演奏をさせて頂く事になりました。  
昔の懐メロや映画音楽を中心に数十曲を演奏、参加者は歌詞を見ながら口づさむ方も多くいらして、様々な思いを胸に音楽を楽しんで頂きました。

■4R・1Z 上田LC 2016年8月7日  
献眼登録活動



8月7日(日)海野町七夕まつりにおいて献眼登録活動を実施。今回は、当クラブ受入れ中のセルビアからのYCE生ジョバナ・ロザノフさんも参加し、メンバーと共にポケットティッシュやチラシ、風船を配布しながら献眼登録の呼びかけを行いました。今回の活動では、15名の方にご登録をいただきました。現在、アイバンク登録者数も減少しているようですので、今後も継続していきたいと思っております。

■3R・3Z 塩尻LC 2016年8月7日  
高ポッチ高原草競馬大会



高ポッチ高原にて毎年8月第一日曜日に開催される「高ポッチ高原草競馬大会」。  
長野県内外から競走馬、農耕馬、ポニーなどが参加する、全国一標高が高い所で行われる競馬大会である。参加者と見物客が一体となる臨場感は特筆すべきものがある。  
当日の午後の第一レース(ポニーの競馬)で塩尻ライオンズクラブ会長賞を贈呈した。

■3R・3Z 塩尻桔梗LC 2016年8月3日  
第23回じゃがいも掘り大会



毎年恒例のアクティビティ事業。身障者と保育園児によるふれあいと対話、世代間交流をはかり自然体験を通じて自然との共生を学び、心の豊かさ、土とのふれあいによる収穫する喜びを体得し思いやりの心を育てるジャガイモ掘り大会を総勢150名にて開催。当日は天候の影響で、畑のジャガイモ掘りは実施できず、スイカ割り大会とジャガイモで作ったカレーを食べる食事会を行いました。

■4R・1Z 上田LC 2016年9月11日  
第26回ライオンズ旗争奪少年サッカー大会開催



9月11日(日)上堀芝生グラウンドにおいて、ライオンズ旗争奪少年サッカー大会を開催しました。総勢147名の選手の参加がありました。心配された天候にも恵まれ、ケガ人もなく無事に大会を終える事ができ、運営にご協力いただいた各チーム関係者の皆様へ感謝しています。今後も地域の子供たちが健全に成長するお手伝いを続けていきたいです。

■3R・3Z 塩尻LC 2016年8月30日  
ウイングロードにて 献血事業



朝8時から準備をし、献血車(2台)の到着を待った。台風の影響で雨が降り午前中は献血に訪れる方も少なく心配したが午後になり天候が回復すると献血に訪れる人も増えた。  
この天候にも関わらず協力いただいた企業の皆様、毎回献血事業にきて下さる市民の皆様のご協力により今回も血液を必要としている人に届ける事が出来ました。有難うございます。  
【受付者106名 採血者90名 36,000ml】

■4R・1Z 丸子LC 2016年8月12日  
レオ合同花市例会・チャリティーバザー



今年も花市合同例会を開催し、とんぼハウス・山の子学園様にご出席をいただきました。  
バザー会場を準備、18時より合同例会を開始しました。レオ12名、L21名、事務局の参加。例会ではとんぼハウス様と山の子学園様に寸志を差し上げました。チャリティーバザーは19時から始まり、レオはバザーのお手伝いと葉防防止キャンペーンをやりました。暑い夏の夜、ライオンとレオが一つの事業を協力して行い、地元へ貢献しています。

■4R・1Z 更埴LC 2016年10月22日  
事務局前花壇整備



事務局前の花壇は市民の通行の多い歩道に面しています。  
通行人にも楽しんでいただけるよう、見栄えが良く、越冬できるパンジーを植えました。

■4R-1Z 東御LC 2016年7月30日

道の駅「雷電くるみの里」周辺の道路清掃



毎年行われている「道の駅周辺の道路清掃」に参加。市民・中学生・各種団体を含め352人の参加がありました。セルビアからのYCE生ジョバナさんも参加し、セルビアでも奉仕活動を行っているとのことで、積極的にゴミ拾いを行っていました。環境美化活動の定着や意識の変化が大きく、年々ゴミの量は減ってきましたが、このような地域に密着した奉仕活動を大切にしていきたいと思えます。

■4R-1Z 東御LC 2016年10月20日

女性ライオン・ライオンパートナーによる老人養護施設での奉仕活動



毎年行っている「女性ライオンとライオンパートナーによる老人養護施設での奉仕活動」を行いました。今年は、施設の中庭の清掃・整備とチューリップの球根植えを行いました。今年で24回目になりますが、このような小さな活動1つ1つを積重ねて続けていくことが「ライオンズクラブ」が地域に溶け込んで行くために必要だと感じます。

■4R-1Z 上田城南LC 2016年8月6-7日

第34回少年野球大会



当クラブの継続事業「第34回少年野球大会」を上田市の上堀グラウンドにおいて開催。この夏一番の暑さの中、選手たちは熱戦を繰り広げました。

優勝は城下少年野球チームが2連覇。準優勝は真田少年野球チーム、3位は川西学童野球、中之条・千曲町育成会野球部でした。年々参加チームが減少していましたが、今年は1チーム増え11チームでした。多くのチームに参加していただけるよう、検討していきたいと考えております。

■4R-1Z 上田城南LC 2016年8月24日

上田城公園清掃



昨年度末に新しく発足した「上田さくら支部」が初めての活動を行いました。現在「真田丸」人気で観光客が増えている上田市ですが、上田城公園清掃をするべく活動開始をしました。当日は朝6時からクラブメンバー7名も参加し気持ちの良い汗を流しました。支部は若いメンバーで結成していますのでこれからの活動が楽しみです。

■4R-1Z 坂城LC 2016年10月2日

東北大震災復興支援奉仕活動



10月2日(日)坂城町とクラブ会員、地域の協力者総勢16名にて福島県葛尾村の「ふたばワールド2016inかつらお」に参加。坂城町名産のネズミ大根を使用したおしぼりうどん、ブランド商品の販売、ゆるキャラのねずこんも登場。復興支援の一環として盛り上げられたのではないかと思います。また、葛尾村役場の村長をはじめ職員の方々とも再会し、5月の子どもフェスティバルで集めた義援金をお渡しすることができました。

■4R-1Z 戸倉上山田LC 2016年7月17日

上山田温泉夏祭り 献眼登録



7月17日(日)12:00~14:30 戸倉上山田LCメンバー15名上山田温泉夏祭り「水と緑と潤いのある公園」にて風船を配布しながら献眼登録の呼びかけを行いました。

短い時間ではありましたが、市民の皆様にご協力いただき10名の方に献眼登録をしていただきました。

■4R-1Z 依田窪南部LC 2016年9月4日

クリーン少年団 清掃活動及び消防署体験学習



クリーン少年団の活動として「清掃活動及び消防署体験学習」を行いました。

3校6年生、先生方50名が参加下さいました。今年は長門バイパス沿い4キロを可燃、不燃別にゴミ拾いしました。

午後は消防署体験学習で署内や救急車・消防車の機器説明を受け実際に乗車や放水なども体験しました。

■4R-2Z 軽井沢LC 2016年9月22日

軽井沢ライオンズクラブ旗少年野球大会開催



9月22日「第32回軽井沢ライオンズクラブ旗少年野球大会」を開催。

地域社会での青少年育成を目的に開催し、小学生も毎年楽しみにしている大会です。軽井沢・御代田町の小学生参加。今年は元プロ野球選手のチームも参加して、野球教室も開催しました。

真剣な選手たちのプレーに父兄も応援に熱が入り盛会に終わりました。

■4R-2Z 望月LC 2016年10月13日

献眼慰霊碑公園清掃



早朝6時30分より行いました。毎年恒例の活動です。

今年は会長に除草剤を撒いてもらってあったので、草はそれ程なく、植木の剪定を中心に行いました。1時間程でとてもきれいになりました。

# 第7回ライオンズクエスト ワークショップ実施報告

開催日／8月1日～2日 場所／塩尻市立桔梗小学校

地区ライオンズクエスト第1委員長  
L.降旗 一路【松本中央LC】

8月1日(土)・2日(日) 両日「第7回ワークショップ」を開催しました。

第7回WSは、塩尻市桔梗小学校を中心に3Rから18名の先生方にご参加いただき、ライオンズメンバーも2名参加し開催されました。

最初は、緊張気味の参加メンバーも午後になるとお互いに打ち解けて、活発にWSに参加されておりました。

長野県との連携協定に基づき、3R3Zでも塩尻市と連携協定を結んでおり、開講式には塩尻市教育委員会山田富康教育長にご出席頂き開講のあいさつを頂きました。又、2日目には、小口利率塩尻市長もお越し頂きWSを見学し閉講式にご挨拶を賜りました。岡村特別委員をはじめ長年ライオンズクエストプログラム普及活動にご尽力いただいた皆様方のお陰で、



3R3Zでは、行政のトップである塩尻市長・教育委員会にライオンズクエストを理解して頂き大きな前進となりました。

参加された先生方のアンケートも「良い体験」「学校で生かしたい」等好評の意見を数多く頂く事が出来ました。

今回行った3R3Zでは、塩尻桔梗ライオンズメンバーに準備から手伝って頂き、ライオンズクラブ+市町村+教育委員会の三身一体型でのクエスト普及活動が出来ました。

ライオンズクエストプログラム普及活動は、一部のキャビネット委員だけのACTにならない様に当委員会では、その環境整備を行って参ります。

少しずつではありますが、教育関係者を中心にライオンズクエストの重要性がこの地区に浸透しつつあると感じております。参加された先生方から「是非うちの学校で開催して頂きたい」との声も聞かれ大変心強く、一層努力する決意であります。

ここに至るまでライオンズクエストの普及に努力され、その基礎を築き上げられた先輩ライオンの皆様のご尽力に改めて敬意と感謝を申し上げ報告と致します。



## 子どもの意思決定力磨こう 塩尻で教員向けに研修会

県内のライオンズクラブで  
つくる「ライオンズクラブ  
協議会3・4」E地区は1  
日 集団における意思決定や  
問題解決の能力を子どもたち  
子どもが意思決定や問題解決  
の力を付けるための指導法を  
学ぶ教員ら

が身に付けられる指導法の教  
育委員会から19人が参加  
した。

14年から取り組んでいる。今  
回はプログラム認定講師の佐  
藤さんを招いた。  
渡辺さん(44)は東京11が指  
導役を務めた。  
この日は「2日間の研修  
のルール」を決める過程を  
体験。3班に分かれて「司  
会」「記録係」などの役割を  
決めて話し合い、各班がル  
ールの案を発表した。参加  
者からは「自分たちでルー  
ルを考えると、守つてい  
いが強くなる。自分の学級で

プログラムでは、意思決定  
や問題解決の手法として話し  
合いを重視。佐藤さんは話  
し合いで意見を出し合う経  
験を通して「子どもが自  
分を受け入れられている」と  
感じられれば学級の雰囲気  
良くなり、学力向上やいじ  
め防止にもつながる」と話し  
た。

信濃毎日新聞 8月2日掲載



## ライオンズクエストとは

ライオンズクエストは、エビデンス(学術的に検証され、認められた効果)に基づくプログラムです。青少年が、思いやりと能力を備えた社会の一員となるために必要な、意味ある経験をjする機会とあたたかい人間関係を提供

し、青少年とその家族を取り巻く世界の変化に対応することをねらいとしています。自律心、責任感、よい意思決定、他者の尊重、そして社会貢献する心を養うスキルや行動を教えることにより、青少年が21世紀における家庭生活、市民生活、そして働くことへの責任を負う準備を手助けします。

「子どもたちがしっかりとした人格を備え、持てる力を十分発揮できる健やかな大人に成長するために、学校を核として、教師・保護者・地域のメンバーは何ができるだろうか。」そんな主題のもと、指導者向けに開催されるのが2日間のワークショップです。ワークショップを受講した人のみが、プログラムを使うことができます。

※詳細に関してはライオンズクエストHP (<http://lionsquest-japan.org>) 参照



# 第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動事前調査報告

実施日／9月16日～19日

地区国際関係・LCIF委員長兼大会参加委員長  
L. 恩田 弘志 【松本アルプスLC】

9月16日から9月19日にかけてJMM下見調査に総勢16名でマニラへ。

例年のごとく、マニラ空港に301-D2のガバナー始めメンバーに出迎えられ無事到着。相変わらず高温多湿のマニラ市内をかなりグレードアップしたバスに乗り定宿のダイヤモンドホテルに向かう。毎年交通渋滞が激しくなり、特にマニラ市内の移動は時間的にリスクの高いものになってきたとつくづく思う。

今年は、曜日の関係で初日の16日に3班に別れ①日本大使館②DSWD③現地医師薬品関係者との打合せ、の3つを同時進行で実施するという強行軍。

案の定、交通渋滞でDSWDへの到着が20分遅刻。

大臣秘書官の女史にどの様な謝罪をしようかと思案していた所、武田ガバナーの用意した地元のお菓子を手渡した瞬間「おいしい!」と流暢な日本語。女史は日本大好きで自分で日本語を猛勉強中という親日派。トントン拍子で話が進み、ライオンズクラブへの理解と今後の協力体制、そして大臣らのさよならパーティへ招待を確約して頂き終了。

更に、今回の一番の不安材料の「フィリピンのトランプ」とまで噂のあるドゥテルテ新大統領。何と就任して最初の訪問は日本大使館という親日派。国内の評判も上々で一安心。

2日目、比較的近距离の3箇所を視察。事前に充分情報把握していたので、3箇所とも奉仕実施地として即決。3日目、2番目の不安材料の遠隔地ディナルピファン。往復6時間は確実に出来れば避けたい場所であったが、301-D2ガバナー・パーツの地元。会場は新築中で担当リーダーをL.パーツの親戚の内科医にする事で決定。全ての実施地を決めて一段落。

ところが、ホテルへの帰路、バスのエアコンが故障。3時間蒸風呂状態で、マニラではエアコンが無いと生きていけない事を皆実感。色々な予想だにしないことが起こるJMMベテラン揃いのスタッフに支えられ、無事日本への帰路に着く。

来年2月、多くの参加者が1万人を超える多くの患者さんに奉仕をし、無事42回目のJMMが実施できる事を心より祈っています。



## 第42回 日本・フィリピン合同医療奉仕 事前調査日程

9月16日(金)	①日本大使館 表敬訪問
	②フィリピン政府・社会福祉開発省(DSWD)表敬訪問
	③現地薬局関係者と医薬品の打合せ
	④ダイヤモンドホテルマネージャーとの打合せ
9月17日(土)	⑤301-D2地区キャビネット事務局にて打合せ
	⑥奉仕地区視察 B-1:Commonwealth,Q.C.
	⑦奉仕地区視察 A-1:Marikina City
9月18日(日)	⑧奉仕地区視察 A-2:Antipolo,Rizal
	⑨奉仕地区視察 B-2:Dinalupihan,Bataan
9月19日(月)	⑩現地旅行社アティックツアーとの打合せ
	⑪リンペイ氏との面談

## 第42回JMM実施予定日:平成29年2月10日(金)～13日(月)

### 日本フィリピン合同医療奉仕活動! 恵まれない国への支援

334-E地区・長野県ライオンズクラブとフィリピン301-D2地区のライオンズクラブは、1977年より長年にわたり合同医療奉仕活動を継続・実施しています。ライオンズクラブ国際財団よりLCIF国際援助金を受け、毎年2月マニラ周辺の無医村地区4箇所を選び、2日間に渡り150～180名の参加者が、内科・眼科・歯科に分かれて無償で診療、医療品、タオル、歯ブラシ、石鹸、眼鏡を約1万名の患者に配布しています。

この継続実施が高く評価され、2006年7月アメリカ・ボストン市で開催された国際大会で、最高位であるアカデミー賞を受賞。2012年にはLCIF国際理事賞、同年フィリピン政府からもフィリピン社会福祉開発省賞を受賞しています。

# LCIFセミナー実施報告

開催日／9月27日 場所／ホテルブエナビスタ

地区国際関係・LCIF委員長兼大会参加委員長  
L. 恩田 弘志 【松本アルプスLC】

9月27日ホテルブエナビスタにおいて、78名のご参加を頂き、LCIFセミナーを開催。

昨年に続き、334MD LCIFコーディネーターL.加藤助太郎を講師にお招きし、前半を私が、①ライオンズ国際協会100年の歩み②1925年国際大会における「ヘレンケラー」のスピーチ③現在のLCIF交付金による様々な奉仕活動の実態の3本のビデオを観て頂き、LCIFの全体図を説明。

後半をコーディネーターL.加藤助太郎が、詳細に渡るLCIFの現状を説明。

E地区の会員の皆さんがここ数年LCIFへの理解が進み、MJF(メルビン・ジョーンズ・フェロー)に代表されるドネーションがどのように交付金として使われ、私達の身の回りの奉仕活動に生かされているかを認識されるようになりました。

昨今の東日本大震災には約23億円、熊本震災にも既に1億2千万円を越す緊急援助が行われ、交付金への実態感が伴ってきている事も理解度を高める要因になっているのでしょう。

LCI(ライオンズクラブ国際協会)は、この1年大きな変革を迎え、それに伴う組織の変更を行っています。LCIよりLCIFを分離し、より効率よく運営可能な組織にし、2ヶ所の東京日本事務所を1ヶ所に集約し、国際本部の指示が速やかに伝わる様に、また国際本部のホームページも今年8月に大幅にリニューアルされ、スマートフォン対応になりました。

過去、数十ページに及ぶ英語の資料が、3~5分程の日本語テロップ付ビデオになり、1時間程でLCIの全体像が楽しく日本語でイメージできるようになりました。

皆さんのLCIとLCIFへのご理解に一層役立つ情報を提供できたらと思います。



①ライオンズ国際協会100年の歩み



②1925年国際大会における「ヘレンケラー」のスピーチ



③現在のLCIF交付金による様々な奉仕活動の実態



## ■LCIFとは

Lions Clubs International Foundation  
(ライオンズクラブ国際財団)の略。

人道主義的奉仕・大災害援助・職業技術訓練を通して、地域社会及び世界奉仕活動に努める全世界のライオンズクラブを援助することである。

【交付金分野】…①視力保護 ②青少年育成 ③災害援助 ④人道主義的奉仕

## FWTセミナー&ワークショップ実施報告

FWT(Family and Women Team)家族および女性チーム

開催日/10月2日~3日 場所/白馬村八方文化会館

地区FWT委員長  
L.太田 伸子【白馬LC】

333-C地区元ガバナーでありFWT第5会則地域副リーダーのL.長澤千鶴子を講師に迎え白馬八方文化会館で334-E地区FWTセミナー&ワークショップを開催しました。

昨年度より発足のFWT委員会という委員会自体が、ライオンズクラブ内で理解・周知不足なのか参加者が40人程でした。遠く千葉県からお越しいただいたL.長澤千鶴子には大変失礼してしまいました。しかし、講演はライオンズクラブにかける熱意ある内容で、女性ガバナーとして5クラブと4支部を立ち上げた経験から、様々な発想からのクラブ会員増強のお話をいただきました。また後半のワークショップでは、女性会員増強、ライオンズクラブの状況、問題点などの意見交換をしました。発表では大変和気あいあいとした楽しい雰囲気でした。

3日のエクスカージョンでは、長野オリンピック開催のジャンプ競技場、陸わさび園、神城断層地震の復興祈願で寄贈した時計を見学しました。ジャンプ競技場ではラージヒルのスタート地点まで上がり選手気分に浸ってきました。

FWT委員会が、関わる委員だけのものではなく、ライオンズクラブのキャビネット構成委員会として、しっかりと位置付けられるよう活動していきたいと思えます。



## GMT会員増強大会実施報告

GMT(Global Membership Team)グローバル会員増強チーム



開催日/10月5日 場所/ホテルブエナビスタ

地区GMT委員長  
L.小林 紀之【安曇LC】

334複合地区全体において、2015~2016年の会員数は毎年のごとく全体で1337人の減少という結果でありました。しかしながら、我がE地区においては、前増田梯造ガバナー及び、役員の方々の努力により、当地区だけが唯一微増という結果、一応減少の歯止めとなりました。

これら結果を受けまして、地区GMT会員増強大会を10月5日開催致しました。本年はE地区として会員数2000人以上を目標活動の課題として開催いたしました。

講演には増田梯造前地区ガバナーより、会員増強の意義、重要性等のお話を頂きました。

特にライオンズクラブとして長野県知事との提携した、連携協定及び、それぞれの地区クラブでの市町村との連携協定を活用し、県民、住民の皆さんにライオニズム、奉仕活動を広く展開、理解して頂くことが重要であり、今後の会員増強に資するであろう。そしてクラブ運営には事業費、活動費からして2000人規模が必要とのお話を頂きました。そして休憩を挟み、松本祐地区育成委員長兼キャビネット幹事補佐から、奉仕活動と会員増強の講演をいただきました。特に会員増強には各クラブの会長、会員への周知徹底要請及び、各ゾーン・チェアパーソンに要請されました。そして、現在それぞれの退会者の状況は入会し1~2年の会員が多く見られる。そこで各クラブにおいては会員増強はもとより、退会者を出さないよう留意して頂きたいとの要請がありました。

報告会では各リジョンからの会員増強活動について、リーダーゾーン・チェアパーソンからの報告、またコーディネーター挨拶として地区GLTコーディネーターのL.吉澤文男、地区FWT副コーディネーターL.尾上よね子、講評には地区GMTコーディネーターL.宮下満栄、最後にはクラブ創立百周年記念奉仕実行コーディネーターL.佐藤義雄から講評を頂きました。

# 我がクラブの ライオンズ レガシー

4R 編

国際協会が創設100周年を記念して推奨している「レガシー・プロジェクト」。

334-E地区では、これまでも各クラブが実施してきた素晴らしい「我がクラブの」ライオンズ・レガシーがあります。

今も形として残っているものや刻印、銘板のあるアクティビティだけでなく、

地域にインパクトを与え続けている事業、取り組みなどを毎号リジョン別に紹介させていただきます。



## LIONS LEGACY PROJECT

100周年記念コミュニティ「レガシープロジェクト」とは

国際協会が創設100周年を記念して打ち出したプロジェクト。

これは2018年6月30日までに、永続的に形の残るライオンズのレガシー(遺産)を構築することにより、クラブと地域のとのつながりを強化することを目指しています。レガシー・プロジェクトは、地域社会への贈り物であり、クラブがしてきた奉仕による貢献を遺産として永く残します。詳細についてはLions100.orgをご覧ください。

### 丸子LC

**丸子レオクラブは  
将来にも残り続ける、  
誇り高きレガシー**

1973年12月23日設立  
結成43年目(現在14名在籍)

丸子ライオンズクラブのレガシーは何ですかと問われると、一番に答えが出るのは青少年育成事業として1973年に結成された丸子レオクラブです。当時は334-E地区においても多くのクラブが結成されましたが、現在では茅野レオクラブと丸子レオクラブの2クラブのみとなりました。43年間にわたり、ライオンズメンバーの協力のもと、「We Serve」の精神で地域の青少年に対し、豊かな人間形成の機会を与え、友情・行動力・指導力・相互理解の精神を育成することをとおこなってきました。334-E地区においての主要アクティビティであるフィリピン合同医療奉仕活動には、これまでに多くのレオメンバーが参加し、体験を機会に歯科衛生士になった子や参加することにより、奉仕の精神を学んだようです。現在、丸子レオクラブには14名が在籍し、レオOB6名は当クラブで活躍中です。物や形でのレガシーではありませんが、将来にも残り続けるレガシーを指します。



### 上田LC

**蓮の音子ども園との  
交流会**

1996年  
(継続事業)

上田ライオンズクラブでは、社会福祉法人上田明照会「蓮の音子ども園」(発達に課題を持つ就学前の子を対象に発達支援を行う施設)との交流会を平成8年より継続しています。10年間は群馬県嬬恋村鹿沢高原へ園児・保護者・保育者を招待してクラブメンバーと温泉入浴やカラオケ、お遊戯等で交流を計っていました。平成18年より小諸市にある県動物愛護センター「ハローアニマル」に場所を変え、動物との触れ合いやゲーム、お遊戯等でメンバーとの交流を継続してきました。昨年度は、交通面での負担を減らす目的もあり、会場を市内の香青軒に変更して開催しました。子ども達が楽しめるよう内容を検討し、地元で活躍している腹話術師やボランティアとして参加の長野大学の学生達の協力を得て、楽しい時間を共に過ごすことができました。毎年楽しみにしていただいている交流会なので、クラブの継続事業として今後も開催したいと考えています。



### 更埴LC

**森將軍塚まつりと  
献血登録・  
献血推進活動**

2000年9月  
(継続事業)

現在、当クラブの最重点アクティビティである献血・献血登録推進事業を毎年11月3日に科野の里歴史公園で、古墳や歴史館などを通して先人の文化を知り未来に向けて新たな文化創造と地域の活性化を図ろうというコンセプトで開催される市民祭り「森將軍塚まつり」にて、日本赤十字社と共同のもと、献血車2台を迎え会員全員参加(原則)で盛大に行っております。昨年の実績は献血登録者4名、献血200ml・3名、400ml・41名でしたが、この事業を始めた当初(当時は「ふれあい広場」にて実施)には100名の方の献血登録を頂き、その後献血登録者は減りつつありますが、24時間TVとのコラボもあり16年間で凡そ500名の方の登録を頂くことが出来ております。昨年結成50周年を迎えた我がクラブですが、小さいながらも継続は力なりで、当クラブのライオンズ・レガシーとして今後とも実施して参りたい事業の一つであります。



**東御LC**  
東御LCの歴史と  
共に  
「子ども禅の集い」

1976年6月、  
(継続事業)

東御市内の曹洞宗の古刹、二ヶ寺では、毎年交互にお寺さんのお堂をお借りして市内小学校の児童を対象に「子ども禅の集い」を開催し続けて今年で四十年を迎えることになりました。東御ライオンズクラブの呼びかけで曹洞宗青年会の皆さんにご協力を頂きながら坐禅の機会に触れて頂きます。

お堂でご住職の御指導を頂き、足を組み、静かに目を閉じて瞑想に耽る。こんな体験を決して無理をするのではなく、自然体で自分を見つめ直す機会として、長く続けてきております。足が組めるか、背筋を伸ばしたまま我慢ができるか、叩かれたら痛いか。様々な心配と不安が入り混じる中、子どもたちは真剣な気持ちで住職のお話を耳を傾け、慣れない坐禅に今年も挑戦して参ります。

今や、目まぐるしく変化する現代において普段余り接することのない時間を子どもたちと共に感じ、坐禅を通して青少年育成に寄与できる事をこれから続けて参ります。



**上田城南LC**  
ラオス学校建設

2010年2月22日、  
(継続事業)

上田城南ライオンズクラブは35周年に「東京国際学園高等部」との繋がりができ、学園と共同で学校建設のスタートをしました。しかし、学校の不足は顕著でラオス関係諸庁より嘆願を受けクラブ主体の事業として取り組み始めました。

2013年5月LCIF一般援助金の交付を受けラオスピエンチャン県ポンカム村に小学校校舎1棟を建設しました。

2014年11月LCIF国際援助金の交付を受けトイレ1棟及び井戸の建設、貯水タンクの設置、図書、植樹をしました。植樹は「レモンの木」でこれは果実を取って販売できるように決めました。

2016年4月学校へ図書寄付をしました。

この事業により教育環境の改善、安全で安心な授業、トイレ、井戸により衛生面で子供たちの健康が改善されました。結成40周年の記念事業の一つとして3年計画で実施して来ましたが、今後は子供達の育成に力を入れラオス支援の継続を考えておられます。



**坂城LC**  
守り抜く我が町  
我が郷土  
千曲川クリーン  
キャンペーン

2001年4月、  
(継続事業)

坂城ライオンズクラブは今年創立40周年を迎えます。この長きにわたり多くの先人が偉大な事業を残し、現在も脈々と受け継がれております。2001年E地区ガバナーに就任した当クラブのL、滝澤慶は地区55クラブ、5ネスクラブ、2レオクラブに呼びかけ、河川清掃キャンペーンを呼びかけ、全クラブが一斉に環境保全に取り組みました。

以来わがクラブでは坂城町と手を携え4月の第3日曜日、午前7時から千曲川の坂城大橋・望遠橋・鼠3か所に町内の3小学校・中学校・高校の校長先生から教職員をはじめ生徒児童そして地域住民が毎年2000人余りが心をついて河川清掃に汗を流します。

母なる大地を流れる千曲川の清流・緑豊かな自然と人の温もりは坂城の大きな遺産でもあります。私たちはこれから先人の教えを忠実に守つ頑なに守り偉大な遺産を次世代に引き継いでいきたいと思っております。



**戸倉上山田LC**  
ワイサーブの杜  
花見で賑わう公園の  
入り口に献眼感謝の碑

2002年3月20日建立  
(年四回の美化・清掃継続事業)

しなの鉄道「戸倉駅」の裏山中腹に大きくそびえる天狗の立像。その昔、天狗三兄弟が暮らしたと伝わるこの地が現在の戸倉宿キティパークです。お花見の名所として多くの市民に親しまれ、また近年では節分草の群生地として注目され県内外からの来訪者を迎えています。

この公園の登り口に当クラブでは「ワイサーブの杜」を2002年に整備しました。

戸倉上山田温泉街から山々の間を流れる千曲川の清流、その兩岸に広がる故郷の田園を見下ろす場所に献眼感謝の碑を建立し、献眼献腎された方々の鎮魂を行っています。毎年、年四回の美化・清掃活動に加え、2012年にはクラブ三十周年事業として新たにアーチ型の門を整備しました。

公園入り口で車を止め、手を合わせていただく親子連れや子供達の姿を励みに、今後も広く市民の理解と協力が得られるよう、地域密着のライオンズクラブとして活動を続けて参ります。



**依田窪南部LC**  
クリーン少年団  
清掃奉仕活動

1986年、  
(継続事業)

私共クラブでは結成以来、一貫して「クリーン少年団清掃奉仕活動」をしてきました。

地域の武石・長門・和田の三小学校六年生を対象に団員を募り三校の児童交流と地域の清掃奉仕活動を通して青少年健全育成の二環としてきました。春には三地域のバイパスを交替でクリーン奉仕活動をし、昼食後には依田窪南部消防署にて体験学習します。交流を通して汗を流し郷土に育まれた事に感謝し見直しをはかり、友情を築き合う事を目的とします。秋には須坂青年の家の宿泊交流会を実施し、地域清掃奉仕活動のご褒美として飯盒炊き、ゲーム、翌日のウォークラリー等、友情と思いの集りとしております。

最後に年度末、年間参画した思い出を作文として募集し、私共で冊子を作成し児童及び学校等に配布し一年の締めとします。地味な活動ですが私共のクラブ活動の全てであり結成以来の奉仕活動の継続でもあります。



佐久LC

佐久平駅開業記念  
「幸せの鐘」設置

1997年10月1日設置  
(周辺清掃など継続事業)

佐久平駅開業記念、佐久平駅前「幸せの鐘」北陸新幹線佐久平駅裏科口に「幸せの鐘」がある。

旅行く人や若いカップルが幸せそうに笑顔で鐘を鳴らしたり写真撮影したりする姿が微笑ましい人気のスポットとなっている。

1998年(平成10年)2月、長野オリンピックが開催された。

その開催に合わせた前年1997年(平成9年)10月1日に長野新幹線(当時、現在の北陸新幹線)が開通し、佐久平に待望の佐久平駅が誕生した。

これを記念して佐久ライオンズクラブ(当時会長I菊池和行)は佐久平駅から旅立つ人々に「幸多かれ」と祈りを込めて「幸せの鐘」を設置した。

現在はライオンズ奉仕デーに併せ行われる早朝奉仕例会で新たな会員がその周辺を清掃奉仕しながら先輩たちの思いを引き継いでいる。



小諸LC

地域に愛される  
「顕彰の碑」

1998年3月建立  
(周辺清掃、慰霊等継続事業)

小諸LCにおいて継続的に行っているアクティビティとしては、①市内の小学校新入児童に対する47年間にわたる「交通安全囀」の贈呈、②小諸市を望する飯綱山に植樹した「小諸八重紅枝垂れ桜」とその周辺清掃、③企業とタイアップして行っている「献血活動」、④毎年、成人式と花市での「献血活動」と献血者に対する慰霊碑の建立があります。(小諸LCの結成30周年の記念事業II平成10年3月)

このアクティビティの中で、ライオンズレガシーとして永続的に「形の残るもの」としては、献血者慰霊のための「顕彰の碑」であります。

小諸LCでは、毎年1〜2回「糠塚園(老人福祉センター)」の二画に建つ「顕彰の碑」の廻りの草刈りと清掃を行い、慰霊碑に刻まれた110余名の慰霊をしております。



軽井沢LC

養護老人ホーム  
障子貼り

1998年12月  
(継続事業)

養護老人ホーム「静山荘」の障子貼り作業は1998年以来的の継続事業として、施設入居者が年末年始を気持ち良く迎えられる様に館内の障子紙の張替作業を行っております。

大きな障子から窓用の障子まで、当初は障子を外し、風呂場で洗い乾かして、紙を貼り、戻していました。

最近施設の方が準備しており、メンバーは紙を貼る事に専念しております。全体で140本の障子があり、1年おきに半数の障子の張替を行っております。

入居者達は入れ替り現場に見に来ては「ありがとう」と言っていました。昨年、施設が移転した為、部屋に障子が少なくなつてしまし残念な事ですが私共の奉仕作業も減少してしまいました。20年余り皆様に快適な正月を迎えてもらえた事は、当クラブの誇りでもあります。メンバーもこのにかわる事業を思案中です。施設への奉仕は継続とします。



白田LC

地域に残る  
環境美化奉仕

1998年5月  
(継続事業)

佐久市白田は「星の町うすだ」として日本大きなパラポラアンテナのある宇宙空間観測所や、コスモタワーといった宇宙に関する施設があります。そこに位置する稲荷山公園内には遊歩道があり、桜などの花木も植栽されています。

1998年より、色彩豊かな公園に言うことで各ボランティア団体が集まり、つつじなどの苗木を植樹してきました。

白田ライオンズクラブでも環境美化奉仕活動として参加をし、その後も継続事業として毎年早朝下草を刈り、清掃活動を行い、管理に努めています。

現在では季節を通して、桜やつつじ、藤等色とりどり花が咲き、色彩豊かな公園を楽しむことができます。

また、桜の時期には地域の花見名所にもなり、季節を通して市民の集いの場所としても有名です。



望月LC

献眼慰霊碑  
清掃事業

1985年  
(周辺清掃など継続事業)

望月ライオンズクラブでは1985年当クラブの10周年記念事業として献眼慰霊碑を建立致しました。当クラブメンバーの土地を提供していただき、そこに自然石で立派な慰霊碑が出来ました。町を見下ろす高台にあり、近くには老人福祉センター等もあり、いつも多くの皆様に参拝していただいております。現在までに78名の方に献眼をいただき、多くの眼の不自由な方々に光を提供し、これからの生きる希望を与えている事と思っております。

今後引き続き献眼運動には参加をし、より一層努力をしようと思っております。

当クラブでは春と秋の2回の清掃活動があり、美しい環境を造っております。

これからも引き続き献眼運動と清掃活動に精進してまいりたいと思っております。



# 2016-2017キャビネット事務局活動記録 (2016.10.24現在)

2016年		
月日	内容	場所
8月1日(月)	第7回ライオンズクエストワークショップ	塩尻市 塩尻市立桔梗小学校
8月2日(火)		
8月1日(月)	334-E地区夏季キャビネットキャンプ	佐久市 望月少年自然の家
8月2日(火)		
8月3日(水)	第1回334複合地区ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	名古屋市 複合地区事務局
8月5日(金)	第1回地区GMT・GLT・アラート委員会	塩尻市 キャビネット事務局
8月7日(日)	第1回地区国際関係LCIF委員会	松本市 ホテルブエナビスタ
	第1回日本・フィリピン合同医療奉仕活動実行委員会	
8月9日(火)	長野県知事表敬訪問	長野市 県庁
8月23日(火)	1R1Z ガバナー公式訪問	諏訪市 ラコ華乃井ホテル
8月24日(水)	LCIF理事長日本訪問	名古屋市 名古屋マリオットアソシアホテル
	第1回臨時334複合地区ガバナー協議会	
8月25日(木)	第1回334複合地区環境保全委員会	名古屋市 複合地区事務局
	2R3Z ガバナー公式訪問	長野市 ホテル国際21
8月26日(金)	第1回334複合地区PR・情報・IT委員会	名古屋市 複合地区事務局
9月1日(木)	4R2Z ガバナー公式訪問	軽井沢町 軽井沢プリンスホテル
	岡谷LC第1300回記念例会	岡谷市 ライフプラザマリオ
9月2日(金)	臨時第1回地区名譽顧問会議	塩尻市 キャビネット事務局
	第1回地区YCE委員会	松本市 ホテルおもと
9月5日(月)	2R2Z ガバナー公式訪問	飯山市 飯山市文化交流館なちゅら
9月7日(水)	国際会長公式訪問	東京都
9月8日(木)	4R1Z ガバナー公式訪問	千曲市 圓山荘
9月9日(金)	3R1Z ガバナー公式訪問	松本市 ホテルブエナビスタ
9月10日(土)	第1回臨時ゾーン・チェアパーソン会議	
9月13日(火)	第1回334複合地区会員・エクステンション・会員維持委員会	名古屋市 複合地区事務局
	2R1Z ガバナー公式訪問	長野市 信州松代ロイヤルホテル
9月14日(水)	1R2Z ガバナー公式訪問	飯田市 マリエール飯田
9月16日(金)	第2回ライオンズクエスト特別委員会	塩尻市 キャビネット事務局
	第41回日本・フィリピン合同医療奉仕活動事前調査	フィリピン
9月19日(月)	第38回松本LC旗争奪少年軟式野球大会 開会式	松本市 松本市野球場
9月21日(水)	3R2Z ガバナー公式訪問	大町市 明日香荘
9月23日(金)	第1回334複合地区管理委員会	名古屋市 複合地区事務局
9月25日(日)	献血・骨髄移植推進活動	長野市 南長野運動公園
9月26日(月)	第1回地区長期計画委員会	塩尻市 キャビネット事務局
	第2回長野県連携協定推進室会議	
9月27日(火)	第2回334複合地区家族及び女性委員会	名古屋市 ザ・サイプレスメルキュールホテル
	LCIFセミナー	松本市 ホテルブエナビスタ
9月28日(水)	中野LC第29回献眼法要例会	中野市東山 日本人形資料館
9月29日(木)	第2回334複合地区YCE委員会	名古屋市 複合地区事務局
	明科LC結成45周年記念例会	生坂村 やまなみ荘
10月1日(土)	夏季派遣YCE生帰国報告会	塩尻市 えんぱーく
10月2日(日)	FWTワークショップ&セミナー	白馬村 八方文化会館他
10月3日(月)	平成28年度一般社団法人日本ライオンズ第1回社員総会	東京都 フクラシア東京ステーション
	ライオンズクエスト体験会セミナー打ち合わせ	塩尻市 キャビネット事務局
10月4日(火)	3R3Z ガバナー公式訪問	塩尻市 ホテル中村屋
	第3回地区PR・ライオンズ情報・会報編集合同委員会	塩尻市 キャビネット事務局
10月5日(水)	第1回334複合地区献眼・献腎・献血・骨髄移植推進・聴覚委員会	名古屋市 複合地区事務局
	GMT会員増強大会	松本市 ホテルブエナビスタ
10月7日(金)	第1回地区コーディネーター会議並びに第1回334複合地区LCIF・国際関係委員会	名古屋市 ザ・サイプレスメルキュールホテル
10月8日(土)	献血・骨髄移植推進活動	松本市 アルウィン
10月11日(火)	長野グリーンシティLCチャーターナイト記念例会	長野市 ホテル国際21
10月13日(木)	第1回四半期会計監査	塩尻市 キャビネット事務局
10月14日(金)	L・佐藤義雄国際理事候補者 激励ゴルフコンペ	千曲市 千曲高原カントリークラブ
10月19日(水)	ライオンズクエスト体験会セミナー	塩尻市 総合文化センター
10月20日(木)	国際第2副会長歓迎交流会	東京都 牡丹
10月21日(金)	FWT全日本女性フォーラム in 東京	東京都 衆議院・憲政記念館 講堂
	第2回334複合地区指導力育成・リサーチ・長期計画委員会	名古屋市 複合地区事務局
10月24日(月)	第2回334複合地区PR・情報・IT委員会	
10月26日(水)	第2回334複合地区管理委員会	長野市 志もだ
	第2回地区FWT委員会	
10月27日(木)	アイバンクサポーター講習会	松本市 ホテルモンターニュ
	松本深志LCチャーターナイト例会	松本市 ホテルモンターニュ
10月29日(土)	第8回ライオンズクエストワークショップ	茅野市 茅野市立長峰中学校
10月30日(日)	第2回日本・フィリピン合同医療奉仕活動実行委員会	塩尻市 えんぱーく

# 新入会員紹介

1 R I Z

諏訪湖LC L.有賀 照美



2016.6.13入会  
旅館業

sponsor  
中村 民治

諏訪湖LC L.松崎 洋



2016.6.13入会  
ソフトウェア開発

sponsor  
中村 民治

諏訪湖LC L.中島 恵理



2016.8.8入会  
長野県副知事

sponsor  
中村 民治

諏訪湖 和支部LC L.五味 通代



2016.7.1入会  
保険業

sponsor  
尾上 よね子

下諏訪LC L.小笠原 剛



2016.9.10入会  
店舗デザイン・  
設計・施工

sponsor  
御子柴 賢一郎  
片桐 淳

下諏訪LC L.大橋 勝彦



2016.9.10入会  
飲食業

sponsor  
濱 康幸  
鈴木 隆

伊那LC L.田中 徹



2016.7.1入会  
石油販売業

sponsor  
細江 友子

駒ヶ根LC L.小原 茂幸



2016.8.19入会  
市議会議員

sponsor  
中坪 宏明

駒ヶ根LC L.小林 啓一



2016.10.7入会  
建設業

sponsor  
宮下 厚

飯田赤石LC L.河手 勝彦



2016.7.27入会  
冠婚葬祭業

sponsor  
木下 雄光

飯田赤石LC L.三浦 博



2016.7.27入会  
リサイクル業

sponsor  
石田 誠

飯田赤石LC L.菅沼 敬一



2016.7.27入会  
精密業

sponsor  
木下 貴志

長野LC L.高木 真



2016.7.7入会  
運送事業

sponsor  
片桐 洋一

長野LC L.西澤 啓



2016.7.7入会  
書籍卸販売業

sponsor  
西條 春雄

長野LC L.小原 正彦



2016.7.21入会  
銀行業

sponsor  
矢島 利昭

長野千曲LC L.徳武 明恭



2016.8.26入会  
内装業

sponsor  
牧 竜也

長野グリーンシティLC L.伝田 武彦



2016.5.1入会  
内装業

sponsor  
小林 美紀

長野グリーンシティLC L.佐藤 利一



2016.5.1入会  
司法書士

sponsor  
宮坂 昇道

長野グリーンシティLC L.平出 知之



2016.7.26入会  
フッ素樹脂製品  
製造業

sponsor  
赤地 精

須坂LC L.宮坂 成一



2016.3.1入会  
市議会議員

sponsor  
善財 保

須坂LC L.青木 一晴



2016.4.1入会  
公務員

sponsor  
小柳 邦義

飯山LC L.梨元 孝



2016.7.1入会  
自動車整備販売

sponsor  
真嶋 勝秀

小布施LC L.田口 篤志



2016.7.1入会  
プラスチック  
製造業

sponsor  
須山 秀男

長野篠ノ井LC L.野口 誠嗣



2016.8.2入会  
建設業

sponsor  
長橋 俊哉

長野白樺LC L.吉村 亮



2016.7.27入会  
飲食業

sponsor  
池田 芳良

長野白樺LC L.北澤 憲孝



2016.10.26入会  
眼科医師

sponsor  
池田 芳良

長野みすずLC L.藤田 香織



2016.7.22入会  
建設デザイン

sponsor  
真島 秀男

松本LC L.高木 優子



2016.7.19入会  
飲食業

sponsor  
菊池 宏一郎

松本LC L.成田 俊雄



2016.7.19入会  
土地家屋調査士

sponsor  
菊池 宏一郎

松本LC L.松澤 大祐



2016.7.19入会  
建設業

sponsor  
菊池 宏一郎

松本LC L.加藤 邦枝



2016.8.18入会  
飲食業

sponsor  
有賀 正

松本LC L.青柳 久



2016.9.20入会  
卸売業

sponsor  
武田 善彦

2 R I Z

3 R I Z

1 R 2 Z

2 R 2 Z



松本LC L.島 高之



2016.10.18入会  
写真及び  
ビデオ撮影

sponsor

武田 善彦

穂高LC L.佐野 友治



2016.5.17入会  
養蜂業

sponsor

吉田 満男

佐久LC L.堀籠 茂



2016.1.27入会  
建設業

sponsor

日下部 俊介

佐久LC L.土屋 俊英



2016.7.25入会  
歯科医師

sponsor

中村 通

松本深志LC L.吉岡 直美



2016.8.1入会  
デザイン業

sponsor

藤村 重由

木曾LC L.戸前 和夫



2016.7.1入会  
保険業

sponsor

小野 十九男

佐久LC L.吉沢 信也



2016.3.24入会  
清掃サービス

sponsor

大工原 武重

小諸LC L.西田 祐恒



2015.11.12入会  
住職

sponsor

小山 純

松本アルブスLC L.岡本 伸夫



2016.7.20入会  
建設業

sponsor

古畑 俊明

塩尻LC L.早瀬 誠



2016.6.20入会  
環境改善

sponsor

北山 達彦

佐久LC L.青木 久美子



2016.3.24入会  
飲食業

sponsor

澤尾 光弘

小諸LC L.金本 淑子



2015.12.10入会  
清掃業

sponsor

臼田 和正

松本アルブスLC L.小林 匡善



2016.7.20入会  
介護施設経営

sponsor

織田 泰彰

丸子LC L.荻原 裕



2016.9.1入会  
飲食業

sponsor

松山 三二

佐久LC L.横森 友里香



2016.3.24入会  
飲食業

sponsor

檀原 保雄

小諸LC L.井出 有希実



2016.4.14入会  
エステーション

sponsor

福田 秀永

松本アルブスLC L.本山 太志



2016.7.20入会  
webディレクター

sponsor

三浦 守孝

依田窪南部LC L.中原 政幸



2016.7.1入会  
製造業

sponsor

田村 孝浩

佐久LC L.柳沢 一明



2016.6.30入会  
金融業

sponsor

箕輪 清史

小諸LC L.羽柴 彰一郎



2016.5.26入会  
建設業

sponsor

西田 祐恒

松本中央LC L.宮澤 和彦



2016.5.1入会  
左官業

sponsor

本間 秀友

佐久LC L.高橋 正彦



2016.1.3入会  
建設業

sponsor

菊池 春美

佐久LC L.中村 邦博



2016.7.1入会  
飲食業

sponsor

中村 通

小諸LC L.依田 誠一



2016.7.1転入  
音響設備業

松本中央LC L.佐藤 公衛



2016.7.1入会  
医薬品製造業

sponsor

滝澤 文雄

佐久LC L.浜田 紀子



2016.1.27入会  
薬剤師

sponsor

小林 一昭

佐久LC L.小平 博



2016.7.1入会  
印刷業

sponsor

檀原 保雄

軽井沢LC L.宮村 千明



2016.7.1入会  
建設業

sponsor

甘利 久生

松本中央LC L.蔭澤 祐子



2016.9.20入会  
生活関連  
サービス業

sponsor

青島 千恵

佐久LC L.市川 英治



2016.1.27入会  
サービス業

sponsor

澤尾 光弘

佐久LC L.雨森 洋子



2016.7.25入会  
材木加工業

sponsor

中村 通



# 物故ライオン

永年に渉るクラブ活動ありがとうございました。ご冥福をこころからお祈りいたします。



地区名誉顧問・元地区ガバナー  
(1982-83年度地区ガバナー)

所沢 千秀  
伊那LC

2016年9月14日逝去

去る9月14日、我が伊那ライオンズクラブのチャーターメンバーである大先輩、L所沢千秀の急逝に、私たちはただただ驚きと悲しみの渦に見舞われ呆然とするのみでした。

1963年5月2日(昭和38年)に伊那ライオンズクラブの結成時には礎石となり、自らも市会議員から議長の座を長きに渡り務めながら、ライオンズクラブでは1982年に334-E地区のガバナーを歴任され、長野県を代表する地域、社会貢献活動のリーダーとして尽力されました。その後も地区名誉顧問として現役で活躍され、我がクラブでは生き字引の存在であり誇りでした。今後は築いて下さった偉大な足跡を胸に、ライオンズ精神を忘れず、努力を傾けて参ります。(伊那LC会長 L古田 順子)



永田 暢男  
岡谷LC

2016年5月4日逝去



長坂 英誠  
飯田長姫LC

2016年8月28日逝去



中村 豊  
佐久LC

2016年9月6日逝去



原田 充朗  
飯田赤石LC

2016年10月5日逝去

# 献眼者

宮川 のぶ子(中野LC)  
献眼発生日/2016年6月22日

上田 良三(長野りんどうLC)  
献眼発生日/2016年6月27日

安達 すみ江(東御LC)  
献眼発生日/2016年8月3日

越野 誠一郎(大町LC)  
献眼発生日/2016年8月5日

平尾 哲男(上田LC)  
献眼発生日/2016年8月8日

太田 和子(塩尻桔梗LC)  
献眼発生日/2016年9月5日

吉澤 あき(長野りんどうLC)  
献眼発生日/2016年9月25日

小木曾 昭子(飯田長姫LC)  
献眼発生日/2016年10月12日

大槻 美佐子(飯田LC)  
献眼発生日/2016年11月7日

## キャビネットインフォメーション

### 阿部長野県知事・中島長野県副知事表敬訪問

2016.8.9

8月9日(火)、ガバナー就任の報告を兼ね、武田ガバナー、菊池幹事、有賀会計、宮下地区名誉顧問、長野県連携協定推進室北川室長が、阿部長野県知事・中島長野県副知事を表敬訪問。阿部知事は長野LC、中島副知事は諏訪湖LCに本年入会されております。阿部知事とは、一人親家庭や貧困の問題、子供の教育について意見を交わし、中島副知事とはライオンズクエストへの県としての協力に関して前向きな意見交換をしました。お二人とも、ライオンズクラブにおける女性の活躍、会員増加への取り組みに関して大いに期待されていると申されました。



【お詫びと訂正】ライオン信濃Vol.42第1号に誤りがございました。深くお詫びいたしまして訂正させていただきます。●P25…「武田キャビネット事務局開局式」報告内 シアトル(誤)→シカゴ(正)

### 編集後記

日頃より本誌発行に際しまして、多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。武田ガバナーのスローガンであります「100年の力」より強くより高く新たな改革を=を映し出す内容を目的に、地区会報編集委員長以下編集をさせていただいております。また、ライオンズクラブの長い歴史と、強固な礎の象徴として信州の代表的な石垣で表紙を飾らせていただいております。100年を迎える輝かしい本年度の会報は、前期2刊が無事発行となりました。後期の発行に向け、皆様方のご更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地区会報編集委員 井上 雄太

第42巻 第2号 2016年12月発行

# ライオン信濃

発行：ライオンズクラブ国際協会334-E地区 2016-2017キャビネット事務局  
〒399-0701 塩尻市広丘吉田1150-3 オーイケ第2ビル1F  
TEL.0263-31-6107 FAX.0263-31-6108  
E-mail●caboffice@lcint334e.org  
URL●http://www.lcint334e.org/

編集：地区PR・ライオンズ情報委員会 地区会報編集委員会

### 有限会社ホテル齊北荘



三世代が集えるアットホームな宿です。  
温泉は24時間入浴可。長期連泊も出来、  
心も体もゆったりとリフレッシュできます。  
全館Wi-Fi完備

〒386-0322 上田市西内1262  
TEL.0268-44-2417  
FAX.0268-45-3740  
HP ● <http://www.saihokuso.info>  
E-Mail ● [saihoku@blue.marukotv.jp](mailto:saihoku@blue.marukotv.jp)  
丸子LC / L.斎藤 重一郎

### IPDロジスティクス株式会社



Think Globally, Act Locally.  
「グローバルに考えローカルに行動すること」を  
モットーに日本国内での各種流通サービスと海  
外での物流コーディネートを提供いたします。

〒389-0514 東御市加沢88番地12  
TEL.0268-63-1151  
FAX.0268-63-1152  
HP ● <http://www.ipd-logistics.co.jp>  
E-Mail ● [twashita@ipd-logistics.co.jp](mailto:twashita@ipd-logistics.co.jp)  
東御LC / L.岩下 貴

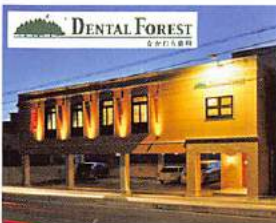
### 佐久ホテル



県内最古の企業として知事表彰を受賞。  
創業は室町時代。  
天然温泉は超濃厚5.6温泉濁度

〒385-0022 佐久市岩村田今宿553  
TEL.0267-67-3003  
FAX.0267-67-3755  
HP ● <http://www.sakusaku.co.jp/>  
E-Mail ● [saku@sakusaku.co.jp](mailto:saku@sakusaku.co.jp)  
佐久LC / L.篠澤 明剛

### デンタルフォレスト なかむら歯科



全身の健康、発育を考えた「小児予防歯科・矯正  
歯科」歯科衛生士の定期メンテナンスを柱に  
した「一般・予防歯科診療」お口の健康維持の気  
付きを与える歯科医院

〒385-0022 佐久市岩村田1929-1  
TEL.0267-68-2118  
FAX.0267-68-2118  
HP ● <http://www.saku-nakamura.com>  
E-Mail ● [info@saku-nakamura.com](mailto:info@saku-nakamura.com)  
佐久LC / L.中村 通

### 有限会社フクダ屋



地域・学校の資源回収を通じ、資源のリサイク  
ル化、ゴミの減量化に取り組んでいます。

〒384-0005 小諸市御幸町一丁目4-39  
TEL.0267-22-0124  
FAX.0267-23-0876  
HP ● <http://www.fukuda-ya.jp>  
E-Mail ● [info@fukuda-ya.jp](mailto:info@fukuda-ya.jp)  
小諸LC / L.福田 秀永

### 協友工業株式会社



「水環境を考える」  
浄化槽設計・施工・維持管理をはじめ、  
給排水・衛生・空調設備のバイオニア

〒385-0046 佐久市前山136番地2  
TEL.0267-62-8211  
FAX.0267-62-8240  
E-Mail ● [t-kyouyuu@mbr.nifty.com](mailto:t-kyouyuu@mbr.nifty.com)  
白田LC / L.友野 正二

### 信州電機株式会社



電気設備 消防設備 設計・施工 保守点検  
人と安全を大切にす会社

〒384-2202 佐久市望月133番地  
TEL.0267-53-2077  
FAX.0267-53-5774  
E-Mail ● [msd@sas.janis.or.jp](mailto:msd@sas.janis.or.jp)  
望月LC / L.黒柳 貞夫

### 有限会社上野設備事務所



建設事に伴う  
機械設備配管工事の施工に25年。  
安全作業で携わっております。

〒389-0505 東御市和213-6  
TEL.0268-36-4186  
FAX.0268-36-4126  
E-Mail ● [ueno4186@sirius.ocn.ne.jp](mailto:ueno4186@sirius.ocn.ne.jp)  
望月LC / L.上野 正一

### 税理士法人 両澤



お気軽にご相談下さい。

〒384-2202 佐久市望月285-1  
TEL.0267-53-2400  
FAX.0267-53-5514  
HP ● <http://www.morozei-mu.jp>  
E-Mail ● [morosawa@sas.janis.or.jp](mailto:morosawa@sas.janis.or.jp)  
望月LC / L.両沢 正子

### サンファーム軽井沢



～最高品質の高糖度トマトで美味しさの感動をお届けします～  
サンファーム軽井沢は、最高品質のトマトをお届けするた  
めに、日々栽培技術の向上に努めております。軽井沢の  
恵まれた自然のもとで、おいしさの感動を育てています。

〒329-0113 北佐久郡軽井沢町発地2785-12  
TEL.0267-31-0271  
FAX.0267-31-0272  
HP ● <http://www.amela.jp>  
E-Mail ● [bicoyanagis@yahoo.co.jp](mailto:bicoyanagis@yahoo.co.jp)  
軽井沢LC / L.柳澤 俊彦

### 旧軽井沢 ホテル音羽ノ森



音羽ノ森は静かな森の中に佇むクラシカルなホテルで  
す。併設の礼拝堂では、日本聖公会による正統な挙式が  
執り行われます。自然の中で叶う特別な一日を、おもて  
なしの思いを大切にゲスト皆様でお過ごしください。

〒389-0102 北佐久郡軽井沢町軽井沢1323-980  
TEL.0267-42-7711  
FAX.0267-42-7716  
HP ● <http://www.hotel-otowanomori.co.jp>  
E-Mail ● [k-front@hotel-otowanomori.co.jp](mailto:k-front@hotel-otowanomori.co.jp)  
軽井沢LC / L.鈴木 健夫

### 有限会社 双葉工業



水と空気の製造企業  
給排水設備のトラブル  
何でもお気軽にご相談して下さい。

〒384-2202 佐久市望月828-2  
TEL.0267-53-4067  
FAX.0267-53-5977  
E-Mail ● [futaba@sas.janis.or.jp](mailto:futaba@sas.janis.or.jp)  
望月LC / L.土屋 泰

# 信濃の城◎石垣巡礼式

## 上田城 4R (上田市)

今、日本中が戦国時代を駆け抜けた一人の智將に魅せられている。

真田幸村。テレビドラマや映画にとどまらず、アニメにゲームと活躍の裾野を広げ老若男女、幅広い層を巻き込みながらその人気は加速を続けている。そんな真田ファンにとって聖地ともいえる場所が上田城だ。現在、公園となっている城跡には折からの大河ドラマブームもあり、いつ訪ねても多くの観光客の姿で賑わっている。

この上田城を築いたのは、幸村の父・昌幸。こちらにも多くの逸話や勇猛譚を残す名將として名高い。



真田昌幸画像 [出典①]

築城されたのは天正十二年(一五八三)のこと。今でこそ上田駅から近い開けた土地となり面影もないが、当時は千曲川の分流である尼ヶ淵が広がっていた場所。城はそんな淵を見下ろす崖の上に建てられた。別名「尼ヶ淵城」とも呼ばれていたのはそれが由縁。南にこの天然の要害ともいえる淵があり、北と西には二重・三重の堀が配された城は自然、攻め込みやすく見える東側から敵は城内を狙うことにな



上田城絵図 [出典②]

る。さすがは名うての策士・昌幸の面目躍如といつたところか。

実際、この城が戦国の覇者となる徳川の軍勢を二度に渡り退けたことはあまりにも有名だ。特に徳川秀忠率いる三万七千の軍勢を十分の以下、二千五百の兵力で迎え撃った第二次上田合戦における真田軍の戦いぶりは判官墨眉の日本人が好む合戦談の一つとして良く知られている。勇敢ながらも緻密なだけでもない。知恵を絞り、地の利を活かして悪条件をはねのける。そんな戦いの舞台となったこの城跡に現代人も浪漫を見るのだろうか。

さて、前振りはこのくらいにして本題である石垣の話に入ろう。(表紙写真)上田城の石垣といえば、「真田石」の存在が有名だ。東虎口右手の石垣に組み込まれているこの石は、その大きさと見る者を圧

倒する。何しろその高さは人間の身長を遙かに凌ぐ約2.5メートル。そして横幅が約3メートルというこの巨石は城の裏手

にある太郎山から切り出されたものとされる。昌幸の息子である信之(信幸)が松代へ転封された時、父親の形見と見立てたこの石を運ぼうと試みるが、数万人の力を持ってしても動かすことが出来なかった。といういわくつきの巨石である。だが、上田城に石垣を設けたのは信之の後に入城した仙石忠政。どうやらこの伝説は後に創作されたもののようにだが、そんな逸話が生まれるほど昌幸が人心を捉えていたということの証だろう。

そんな上田城の石垣だが、その一部が上田市内のある民家に移築されていることを存知だろうか?

同城は明治維新後の八七四年、政府に命じられ約三万六千坪の土地が切り売りされかねないという窮地に立たされる。この危機にお城の本丸一帯を括で買い上げ、保存すべく尽力したのが材木商だった第十代丸山平八郎直養(なおよし)氏。天下分け目でお馴染み関ヶ原の戦いで西軍にくみした高尾三郎某という人物が上田で町人となりおこした丸山家は、真田軍と浅からぬ縁があったことは容易に想像がつく。祖先がかつて敬愛した君主、その居城が切り売りされてしまうことが直養氏にとって切

なく、堪びなかつたのではないか?その意志は次代にも引き継がれ十二代当主となった直養さんの手

により総面積九千坪にも上るその土地は上田藩最後の藩主・松平礼忠へと無償譲渡される。後に上田市(寄付)。この頃のどこかで石垣の一部が丸山家へと移されたのであろう。

因みに、無償譲渡に際し丸山家当主から付随された条件があった。「譲渡した土地は松平神社(現真田神社)と付属遊園地として利用すること」この目的以外の使用や売却することは許さず。万が一、この約束が守られ

なかった場合は直ちに全ての土地を丸山家に返還すべし、と厳命されたそう。このような取り決めが提案されていることから「何としても上田城跡を守る」という忠義の気概が感じられないだろうか?

何はともあれ、義を重んじるこの一族の存在があったからこそ、今の上田城跡の姿があることは間違いない。

【参考文献】「上田高等学校同窓会報第92号」

【タツミムックお城の手帖 戦国武将編】辰巳出版株式会社より[出典①]

【大判ビジュアル図解大迫力写真と絵でわかる日本の城・城合戦】株式会社西東社より[出典②]



丸山家石垣